

国際ロータリー第2760地区
2014～2015年度
青少年奉仕関連委員会資料

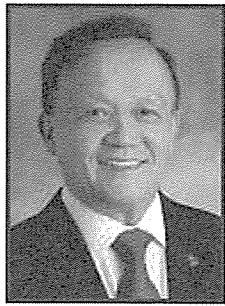
地区研修・協議会

2014年4月13日(日)



ゲイリーC.K.ホアン
2014-15年度
RI 会長

地区青少年奉仕委員会



ロータリーは、誰にでも何かをもたらしてくれます。ロータリアンは、1世紀以上にわたり、奉仕することを目的として、世界中の地域社会で集ってきました。創立以来、大勢のロータリアンが、ローターアクト、インターハクト、ロータリー地域社会共同隊、青少年交換や、その他多くのプログラムへの参加を通じて、ロータリーの奉仕の喜びを発見してきました。

私たちは皆、ロータリーファミリーの一員であり、ロータリーの奉仕の経験から多くを得ています。ロータリーを通じて私たちは、友情を育み、地元に貢献し、また、より良く、より安全で健康な世界を実現するために力を尽くしてきました。そして、真に国際的なボランティアのネットワークを形づくっただけでなく、人々が互いの違いを乗り越えて手をつなげば、驚くべきことが達成できることを、実証してきました。

ロータリアンが大切にしてきた考え方や価値観の多くは、ロータリーに限られたものではありません。私自身がロータリーに深く共鳴するのも、ロータリーの価値観に、奉仕や責任の重視、家族や他者の尊重といった中華的価値観と重なるところがあるからだと思います。

ですからロータリーの奉仕において、私はよく孔子の教えを指針とします。孔子は、私にとって「元祖ロータリアン」だと言ってもいいかもしれません。ポール・ハリスが誕生する2,000年以前、孔子はこう述べています：

まず自分の行いを正しくし、次に家庭を整え、
次に国家を治めてこそ、天下が平和となる。

ロータリアンは、超我の奉仕の理念によって自らを律しますが、奉仕において高い目標を掲げるためには、ロータリー自体に対する手入れを怠らず、ロータリーファミリーを拡大していくことが必要です。

2014-15年度には、ロータリーの奉仕を人びとと分かちあい、クラブをより強力なものとし、地域社会でロータリーの存在感を高めることで、「ロータリーに輝きを」もたらしていただけるようお願いいたします。

本ロータリー年度、新会員を引き付けるとともに、現会員を維持し、会員数130万人という目標を達成することによって、ロータリーを輝かせてください。そのためには、新しいアプローチとアイデアをもって会員増強に取り組まなければなりません。例えば、地元で「ロータリーデー」を開催してロータリーを知ってもらいましょう。ロータリーはそれ自体がファミリーであり、家族のためのものですから、配偶者をはじめご家族に入会を検討するよう勧めるとともに、青少年交換の元参加者や財団学友にも声をかけましょう。クラブの現状を直視して、新会員の入会理由と、既存会員の退会理由を検討しましょう。そして、多忙な職業人やまだ幼い子供がいる人たちにとって、ロータリーを魅力的に興味をそそるものにするために何ができるか考えてみましょう。

さらには、ポリオを撲滅して「ロータリーに輝きを」もたらし、歴史に1ページを刻みましょう。ロータリアンのこれまでの勢いをもってすれば、今後数年以内にポリオを世界からなくすことは、明らかに可能です。ポリオ撲滅を実現することの重要性を、今こそ、ご友人、同僚、地元の議員や政府関係者に伝えてください。ポリオプラス基金に寄付し、ほかの方々にもそれを勧めてください。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財團からの新しいチャレンジに応えることで、ロータリアンの資金を3倍生かすことができます。この史上最大の、公共・民間のパートナーシップに、ぜひともご参加いただき、ポリオない世界が実現した際には、世界中の人たちと誇りと喜びを分かち合いましょう。

2014-15年度、34,000を超える地域社会で、クラブを強化し、「ロータリーに輝きを」もたらせば、ロータリーの奉仕で世界に輝きをもたらすことができるでしょう。

ゲイリー C.K. ホアン

2014-15年度国際ロータリー会長

< R I 会長 強調事項 >

- ・ 地域社会でロータリーの存在感を高めること
- ・ 会員増強
- ・ ポリオ撲滅
- ・ クラブの強化
- ・ ロータリーデーの実施



国際ロータリー第2760地区
2014-15年度ガバナー

こんどう ゆうすけ
近藤 雄亮

生年月日 1947年（昭和22年）9月20日
所属クラブ 名古屋瑞穂ロータリークラブ
職業分類 電磁応用製品製造
勤務先・役職 三明電機株式会社 代表取締役会長
所 在 地 〒467-0863 名古屋市瑞穂区牛巻町6-10

ロータリー歴

1981年10月 名古屋瑞穂ロータリークラブ入会
1991-92年 クラブ幹事
2001-02年 地区ローターアクト委員長
2002-03年 クラブ会長
2008-09年 西名古屋分区 ガバナー補佐
2012年 ガバナーノミニー
2013年 ガバナーエレクト

経歴

1970年 名古屋工業大学電気工学科 卒業
1972年 名古屋工業大学電気工学科修士課程 修了
1976年 三明電機株式会社 取締役 就任
1980年 三明電機株式会社 代表取締役社長 就任
2013年 三明電機株式会社 代表取締役会長 就任

マルチブル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター
米山功労者



地区方針

集まろう・語ろう・楽しもう

地区行動指針

- ・行事への積極的参加
- ・多様性の再認識
- ・奉仕の理想と実践
- ・会員増強

行事への積極的参加

○ ロータリーの行事は色々な人達との出会いの場を提供してくれます。

ある時はその主役となり、また、ある時は黒子となって、自分を感動させるミラクルな出来事との遭遇、自分の存在感・価値観の気持ちを高揚させる為に自分を導いてくれる人との出会いなど、自分の人生哲学を形成する絶好の機会を与えてくれるのがロータリーでありますし、ロータリーの行事であります。

多様性の再認識

ロータリーの基盤の一つが多様性だと思います。クラブは1業種1人の会員で構成するというのがロータリーの始まりであります。ロータリーの会員として選ばれた人がその業界を代表するという考え方であります。

業種・年齢・性別・宗教・思想など色々な人達の集まりであります。

○ 色々な人がいるという事は自分が話をし、感動する出会いが沢山あるということです。

奉仕の理想と実践

ロータリーは奉仕の理想に集った職業人の集まりであります。どんな些細な事からでもよいので奉仕への気持ちの高揚をしていきたいと思います。RIは地域社会に密着した奉仕活動を奨励しています。具体的には、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を活用して奉仕活動を進めたらいいと思います。

次に、ロータリーが、ほぼ、30年に亘って夢を追い続け、もう一步で夢が現実になろうとしているポリオ撲滅活動であります。インドでは2014年1月13日をもってポリオ終息宣言(3カ年発症例なし)を行いました。あと少しであります。是非関心をもって頂きたいと思います。

もう一つは、ロータリープログラムでは極めて重要である新世代関連プログラムに関心を持ち、その意識高揚を図ることであります。関連する委員会の中に、財団奨学、

平和フェローシップ、米山記念奨学、青少年奉仕（インターフェクト・ロータリアクト・RYLA・青少年交換）などのプログラムがあります。

私は国際奉仕・社会奉仕・青少年奉仕・ロータリー財団・米山奨学の各委員会の縦割り組織に横串をさし、一体感を持った組織の横断的連携活動をすることによって、活発な奉仕活動をすることができ、各クラブ、および地区の活性化に繋がり、ロータリーに輝きを与えるものと信じます。地区行事としてロータリーデーを開催いたします。是非、他の委員会をよく理解して頂き、ロータリーデーを通じチームプレーができる地区になることを期待します。

会員増強

ロータリーが組織体である以上、これは永遠のテーマであります。

会員増強の中身としまして

- ①新入会員の確保 ②会員の維持 ③会員の強化

があります。新入会員の確保については多様性を考え職業分類の未充填分野を埋める努力をしなくてはなりません。また、会員の維持・強化に関して、当地区は RLI 方式の研修会や地区ロータリー研究会を熱心に行っております。

意外とロータリーについて理解されていないことが多くあると思います。

ロータリーの良いところや、今まで議論になった事をロータリーの歴史に学ぶことにより情報量が豊富になり、自分のロータリーに対する考え方味がつき、楽しさが増し、美味しい実をつけるのであります。つまり維持・強化に繋がり、ロータリーに輝きを与えることになります。

私の考え方

今、ロータリーは過去どんな風だったかを歴史に学び、現在どの様になっているかを、しっかりと見据え、そして将来どのように成って行くのか、あるいは、どの様にしていくのかを考える大事な変化点にあります。

ポール・ハリスの言葉

「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、私たちは常に進化し、時には革命的にならなければなりません」

これは地球上生物の進化の過程において突然大きな変化（突然変異）が起き、急速に高等生物へと進化していったのと同様だと思います。

そして、RI が現在のロータリー変革期における危機感から打ち出したのが DLP , CLP , RI 戦略計画、ロータリー財団の未来の夢計画であります。

RI 戦略計画

実践項目

クラブのサポートと強化

人道的奉仕の重点化と増加

公共イメージと認知度の向上

+

基本理念

中核的価値観(奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ)

奉仕 …… これが車の両輪である : 奉仕の理想
親睦

多様性 …… これが車そのものである : ロータリーの構成基盤
寛容の精神

高潔性 …… これが車の運転姿勢である : ロータリアン
道徳心

リーダーシップ …… これが車のエンジン・推進力である : 奉仕の実践
信頼

・親睦は何時どうして : 集まって仲良く語り合い、お互いを知り合った時
生まれるか

・寛容の精神は何時どうして : 色々経験をつみ、人の意見に対し真摯に耳を傾けることができる様になった時
生まれるか

・道徳心は何時どうして : 社会における自分の存在意義を理解した時
生まれるか

・信頼は何時どうして : しっかりした知識を持ち、状況判断ができその言動が相手に心底認められた時
生まれるか

高潔性

ロータリーの基本理念からすると高潔性はロータリアンが身につける当たり前のことである。元々ロータリーは道徳心の上に立って成り立っているものであって、法律上問題がなければ何をやっても良いと言うものではない。

リーダーシップ

過去を知り現在の状況判断がしっかり出来、未来を見据え自分のやる気を言葉に表し、行動で見せ皆から如何に共感を得るかということである。これはお互いの強い信頼関係の上に成り立つものである。

ロータリー財団の未来の夢計画

ロータリー財団の未来の夢計画は“財団は私たちのもの”ということを強調しているものであります。ロータリー財団をもっと理解し、奉仕の理想の実現の為に大いに活用しましょう。ロータリー財団への寄付やロータリー財団の資金活用に対して、目標を立て実現することによりロータリーに輝きを与えましょう。

私の思い

ロータリーには元々大きな柱が2本あった。

1：出席

2：一業種一人の会員制

これがロータリーに於ける不易流行の不易の部分だと私は思っています。

火山がその後の環境変化によって人が見える部分が如何に形を変えようとも、地下深くエネルギーを蓄えているマグマは地下を脈々と流れる煮えたぎった溶岩流となり人の見えるところで新しい形のものを創造する。地下を流れるロータリーエネルギーが、その時々に出くわす環境によって新しい形のものを作るが、このエネルギーの元は決して変わることのないものだと私は信じます。

もう一度1960年代に起こったロータリーマグマ活動が、再度力強く活動をし熱き溶岩流が流れ多様な模様を作り出すことを切望します。

地区会員全員熱くなり、ロータリーに輝きを与えましょう。

I believe that Gentleness from Loneliness and Sympathy must be brought, in other words Fellowship from Loneliness and the Ideal of Service must be sprang in our heart.

寂しさから優しさが生まれ、そして思いやりが育まれる。言い換えれば、寂しさから親睦・友情が生まれ、そして奉仕の理想が湧き上がると信じます。

Let's get together , talk together face to face and enjoy Rotary
さあ集まろう 語ろう そして楽しもう

RI第2760地区2014－15年度 ガバナー
近藤 雄亮

目 次

地区研修・協議会分科会 プログラム 第6分科会（青少年奉仕関連委員会）…P. 1

青少年奉仕委員会

地区青少年奉仕委員会・活動方針	P. 2
地区青少年奉仕関連委員会行事日程一覧表	P. 3
地区青少年奉仕委員会・各クラブ委員長会議等主要日程	P. 5
地区インタークト委員会・各クラブ委員長会議等主要日程	P. 6
地区ローターアクト委員会・各クラブ委員長会議等主要日程	P. 7
地区RYLA委員会等主要日程	P. 8
地区青少年交換委員会・各クラブ委員長会議等主要日程	P. 9
新世代のためのロータリー・プログラム	P.10
青少年（新世代）奉仕委員会の経緯	P.12
危機管理の必要性に関して	P.13
危機管理委員会組織図	P.14

インタークト委員会

地区インタークト委員会・活動方針	P.15
インタークト要覧の全体図	P.16
インタークト・クラブ提唱の意義	P.17
インタークト・クラブに対するロータリー・クラブの役割	P.18
インタークト・クラブ（協議会）年次大会経緯	P.19
インタークト・クラブ海外派遣研修経緯	P.20
インタークト・クラブ（IAC）一覧	P.21

ローターアクト委員会

地区ローターアクト委員会・活動方針	P.22
地区ローターアクト代表の活動テーマ・方針・事業	P.23
ローターアクト・クラブ提唱の意義	P.24
ローターアクト・クラブに対するロータリー・クラブの役割	P.25
歴代地区ローターアクト委員長・地区ローターアクト代表	P.26
地区ローターアクト主要活動一覧表	P.27
地区ローターアクト運営ローテーション表	P.28
国際ロータリー第2760地区 ローターアクト・クラブ一覧	P.29
国際ロータリー第2760地区 ローターアクト組織図	P.30

RYLA委員会

地区RYLA委員会・活動方針	P.31
RYLAについて	P.32
地区RYLA委員会の指導要綱	P.35
RYLAセミナーに関する指導要綱	P.36
ガバナー主管・RYLAセミナーの開催経緯と計画	P.37
地区ガバナー主管・国際RYLA派遣生募集要項	P.38
Rainbow corps (RYLA学友会) 会則	P.39

青少年交換委員会

地区青少年交換委員会・活動方針	P.42
青少年交換プログラムの年度別取組み表	P.43
青少年交換プログラムとは？	P.45
青少年交換学生・募集案内について	P.46
青少年学生派遣について	P.47
ホストファミリーに関する調査表	P.48
ホストファミリーバンク登録用紙	P.49

地区青少年奉仕委員会関連の国内外派遣に関する「重要確認事項・同意書」…P.50
国際ロータリー第2760地区 地区役員及び委員会構成…P.51

地区研修・協議会分科会 プログラム 第6分科会

青少年奉仕・インタークト・ローターアクト・RYLA・青少年交換

テーマ：ロータリーの公共イメージと青少年ファミリーの認知度向上

◎リーダー 次期青少年奉仕委員長 秋田 敬治

◎アドバイザー パストガバナー 松本 宏

◎司会 次期地区副幹事 八木沢 幹夫

1. 開会の辞 次期地区副幹事 八木沢 幹夫
2. 特別出席者紹介 次期地区副幹事 八木沢 幹夫
3. リーダー挨拶(青少年奉仕委員会活動方針) リーダー 次期青少年奉仕委員長 秋田 敬治
4. アドバイザーア挨拶 アドバイザー パストガバナー 松本 宏
5. 担当ガバナー補佐挨拶 アシスタントリーダー 次期ガバナー補佐 黒田 勝基
6. インタークト委員会活動方針 アシスタントリーダー 次期インタークト委員長 奥田 清仁
7. ローターアクト委員会活動方針 アシスタントリーダー 次期ローターアクト委員長 西本 一幸
8. RYLA委員会活動方針 アシスタントリーダー 次期RYLA委員長 谷山 労和
9. 青少年交換委員会活動方針 アシスタントリーダー 次期青少年交換委員長 岡田 雅隆
10. 危機管理について アシスタントリーダー RI日本青少年交換委員会委員 黒田 勝基
11. 質疑応答
12. 意見交換 進行役 各委員会委員
(各委員会別にグループディスカッション)
13. 講評 アドバイザー パストガバナー 松本 宏
14. 閉会の辞 次期地区副幹事 八木沢 幹夫

青少年奉仕委員会・活動方針

RI第2760地区
2014～2015年度
地区青少年奉仕委員会
委員長 秋田 敬治（田原RC）

テーマ「ロータリーの公共イメージと青少年ファミリーの認知度向上」

*青少年ファミリーとの共同事業を通して、IAC・RAC・RYLA&青少年交換学友との相互交流、親睦そして奉仕の実践を!

地区内ロータリアン並びにロータリーファミリーの皆様には、日頃から地区青少年奉仕関連委員会の活動にご協力ご支援を賜り、関連委員会を代表して厚く御礼申し上げます。標準ロータリークラブ定款第5条には「奉仕の第5部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プロジェクトを通じて、青少年並びに若者にとって、好ましい変化がもたらされることを目的とするものである」と記載されております。

青少年のための RI 常設プログラムにはインタークトクラブ (IAC) ロータークトクラブ (RAC) ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA) 青少年交換 (YEP) があります。

『未来へ向けて成果を託す・夢を追う』これが、青少年育成事業の理念であります。ロータリアンがその事業の主旨目的を理解せず、理念の確立がないまま、若者たちを指導することがあってはなりません。国際ロータリーは、青少年奉仕関連のいかなる育成事業にも、ロータリアンが率先して、深く関わることを奨励しています。青少年育成事業の現場でのロータリアンは常に教え、導き、示す、指導者としての理念と姿勢を堅持すべきであります。青少年育成事業の目的をしっかりと認識して、彼等と共に時間と空間を共有し、会話し、行動して、模範を示す必要があると思います。

地区的青少年奉仕関連 4 委員会では、単年度では解決できない多くの課題の解決に取り組もうとしております。

例えば、IAC・RAC の会員増強と RYLA セミナー参加者募集の対応策の一つとして、
① IAC 卒業生、青少年交換帰国生 OB、RYLA セミナー修了生（大学生・社会人）は各自の地元の RAC に入会する
② 青少年交換帰国生、受入生、RYLA セミナー修了生（高校生）は地域を基盤とした IAC に入会する
③ RYLA セミナーは青少年リーダーシップ養成研修として、IAC・RAC の次期会長・幹事・役員予定者・

青少年交換受入生、派遣候補生（オリエンテーションに組入れ）の必須参加とする
等、4つの委員会の事業努力と成果を繋ぎ、互いが理解し合い協力し合えば、いろいろな試みが考えられると思います。皆様方のご理解と前向きなご協力多大な努力で、ここ 2~3 年で少しづつ課題解決に近づきつつあり、誠に感謝に堪えません

更に今年度の取組みとしては、ゲイリー C.K. ホアン RI 会長の強調事項「地域社会でロータリーの存在感を高めること」への方策として、ロータリアンと青少年ファミリー共同でのプログラムを企画実施し、公共イメージと認知度向上に寄与したいと考えております。その設営の場として 11 月 1 日～3 日に開催予定の地区「ロータリーデーの実施」地域密着型のイベントを中心に進めたいと思います。

前年度までに「ロータリーファミリーを通じたネットワークの強化」が具体的に実践されつつあり、これからは今までバラバラだった地区内の若いロータリーファミリーの力を結集して、継続的なプログラムとして育っていく事が地区青少年奉仕委員会の使命であると考えております。『今日の青少年は、未来のリーダー』であり、現役ロータリアンが若い彼等と協力し、共同で奉仕事業を実践し、次世代のロータリアンとして育てる試みが必要とされています。若い彼らが将来、ロータリーのより良き理解者となり、願わくば優秀なロータリアンとなってくれる事を望むものであります。83RC の抱える課題について地区全体で共有し、RI 戦略計画に沿って、課題解決に繋げていければと考えております。今後とも、地区青少年奉仕関連の委員会活動に、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

ガバナーバイオ	地区幹事会	地区副幹事会	青少年奉仕委員会	I A	R A	R Y L A	青少年交換委員会	2014~2015年度 地区青少年奉仕委員会(IA・RA・RYLA・青少年交換 委員会)					
地区青少年奉仕関連委員会行事日程													出席依頼関係者には別途ご案内申し上げます。
●印は出席者と委員会 △印は次年度	月	日	曜	時間	委員会名他	場所・ホスト							
● 14年3月8日 土 16:00~19:00 次年度の為の地区青少年奉仕関連委員会					アーカリッシュ豊橋								
● 14年3月5日 土 14:00~17:00 RYLAセミナー準備会					未定								
● 14年3月7日 土 14:00~17:00 第1回地区RYLA委員会					豊田市福祉センター								
● 14年3月7日 土 9:00~10:00 第1回地区青少年交換委員会					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月7日 土 10:00~12:00 第9回YPEオリエンテーション					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月7日 土 14:00~17:00 YEP受入説明会					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月7日 土 14:00~17:00 第1回地区ローターアクト委員会					ローズコートホテル								
● 14年3月7日 土 14:00~17:00 第1回地区RA会長・幹事会					ローズコートホテル								
● 14年3月7日 土 14:00~17:00 第1回地区インタークト委員会					愛知青年の家								
● 14年3月7日 19~20日 土・日 9:00~ 第27回地区インタークトクラブ海外派遣研修 第2回事前研修会					愛知青年の家								
● 14年3月7日 21日 月 未定 第25回地区インタークトクラブ年次大会					竜美丘会館								
● 14年3月7日 23~31日 水~木 終日 第27回地区インタークトクラブ海外派遣研修					オーストラリア・パース								
● 14年3月8日 2日 土 9:00~10:00 第2回地区青少年交換委員会					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月8日 2日 土 10:00~12:00 第10回YPEオリエンテーション					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月8日 2日 土 13:00~17:00 2015~16年度YPE派遣学生選考会					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月8日 7日 木 14:00~17:00 第1回地区RYLA委員会・ホストクラブ合同会議					未定								
● 14年3月8日 23日 土 13:30~17:00 第27回地区インタークトクラブ海外派遣研修・事後研修会					名古屋YMCA								
● 14年3月8日 23日 土 17:30~19:00 地区青少年奉仕委員会					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月8日 30日 土 11:00~14:00 第3回地区青少年交換委員会					犬山ユースホステル								
● 14年3月8日 30~31日 土・日 未定 第1回YPE交流会・オリエンテーション					犬山ユースホステル								
● 14年3月9日 7日 日 12:00~13:00 第4回地区青少年交換委員会					キヤッスルプラザ								
● 14年3月9日 7日 日 12:30~13:30 第2回地区ローターアクト委員会					キヤッスルプラザ								
● 14年3月9日 7日 日 13:30~15:45 第2回地区RA会長・幹事会					キヤッスルプラザ								
● 14年3月9日 7日 日 13:30~15:45 地区インタークトクラブ顧問・提唱RC委員長会議					キヤッスルプラザ								
● 14年3月9日 7日 日 13:30~20:00 YEP帰国留学生報告会・第2回オリエンテーション					キヤッスルプラザ								
● 14年3月9日 7日 日 16:00~20:00 地区青少年サミット 第1回地区内クラブ青少年奉仕委員長会議					キヤッスルプラザ								
● 14年3月9日 13日 土 14:00~17:00 第2回地区RYLA委員会					豊田市福祉センター								
● 14年3月9日 14日 日 未定 RA地区親睦					未定								
● 14年3月10日 3日 金 14:00~17:00 第2回地区インタークト委員会					未定								
● 14年3月10日 4~5日 土・日 未定 RA国内研修					未定								
● 14年3月10日 9日 木 14:00~17:00 第2回地区RYLA委員会・ホストクラブ合同会議					未定								
● 14年3月10日 11日 土 13:00~14:00 第5回地区青少年交換委員会					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月10日 未定 未定 未定 RA3地区合同プロジェクト					長野								
● 14年3月10日 25日 土 15:00~16:00 第6回地区青少年交換委員会					南山大学								
● 14年3月10日 25日 土 14:00~17:00 YEPホストファミリー懇談会					南山大学								
● 14年3月11日 1~3日 土~月 未定 第2回ワールドフードふれ愛フェスタ(地区ローターハウス)					名古屋・栄								
● 14年3月11日 8日 土 14:00~17:00 第3回地区RYLA委員会					豊田市福祉センター								
● 14年3月11日 9日 日 14:00~17:00 第3回地区ローターアクト委員会					ローズコートホテル								
● 14年3月11日 9日 日 14:00~17:00 第3回地区RA会長・幹事会					ローズコートホテル								
● 14年3月11日 15日 土 13:00~14:00 第7回地区青少年交換委員会					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月11日 15日 土 14:00~17:00 第4回YPEオリエンテーション					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月12日 11日 木 14:00~17:00 第3回地区RYLA委員会・ホストクラブ合同会議					未定								
● 14年3月12日 14日 日 9:00~10:00 第8回地区青少年交換委員会					東京方面								
● 14年3月12日 14~16日 日~火 未定 YEP・受入留学生研修旅行					東京方面								
● 14年3月12日 20日 土 13:00~14:00 第9回地区青少年交換委員会					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月12日 20日 土 14:00~16:00 第5回YPEオリエンテーション					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月12日 20日 土 16:30~18:30 YEP・ROTEX主催クリスマスパーティー					金山								
● 14年3月15年1月 10日 土 14:00~17:00 第4回地区RYLA委員会					豊田市福祉センター								
● 14年3月16日 1日 金 14:00~17:00 第3回地区インタークト委員会					未定								
● 14年3月18日 1日 日 14:00~17:00 第4回地区ローターアクト委員会					ローズコートホテル								
● 14年3月18日 1日 日 14:00~17:00 第4回地区RA会長・幹事会					ローズコートホテル								
● 14年3月24日 1日 土 13:00~14:00 第10回地区青少年交換委員会					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月24日 1日 土 14:00~17:00 第6回YPEオリエンテーション					ガバナー事務所会議室								
● 14年3月25日 2日 木 14:00~17:00 第4回地区RYLA委員会・ホストクラブ合同会議					未定								
△ 14年3月27日 2日 土 15:00~17:00 地区インタークトクラブ次期役員・提唱RC委員長会議					名古屋YMCA								
△ 14年3月27日 2日 金~日 終日 RA海外研修					未定								
△ 14年3月27日 2日 土 13:00~14:00 第11回地区青少年交換委員会					ガバナー事務所会議室								

ガバナーバー	地区幹事会	地区副幹事会	青少年奉仕	I A	R A	Y L A	青少年交換	2014～2015年度 地区青少年奉仕委員会(IA・RA・RYLA・青少年交換 委員会)
地区青少年奉仕関連委員会行事日程 出席依頼関係者には別途ご案内申し上げます。								
●印は出席者と委員会 △印は次年度								
				月	日	曜	時間	委員会名他
				●	2	14	土	14:00～17:00 YEP・ホストファミー、ホストクラブ、学校関係・三者懇談会
				●	2	21～22	土・日	未定 地区大会
				●	2	21	土	未定 ロータリー青少年ファミリー交流会
				△	2	未定	未定	全国RYLA研究会
				●	3	14	土	14:00～17:00 第5回地区RYLA委員会
				●	3	14	土	14:00～17:00 第22回地区RYLAセミナー最終合同会議
				●	3	19	木	10:00～11:00 第12回地区青少年交換委員会
				●	3	19～21	木～土	未定 4地区合同第28回青少年交換スキーの集い・白馬RC主催 第7回YEPオリエンテーション
				●	3	21～22	土・日	終日 地区RYLAセミナー
				●	3	21	土	未定 第2回地区内クラブ青少年奉仕委員長会議
				●	3	21～22	土・日	未定 第27回全国RA研修会
				●	4	5	土	14:00～17:00 第5回地区ローター・アクト委員会
				●	4	5	土	14:00～17:00 第5回地区RA会長・幹事会
				●	4	11	土	14:00～17:00 第6回地区RYLA委員会
				●	4	17	金	14:00～17:00 第4回地区インター・アクト委員会
△	△	△	△	△	△	●	△	△ 未定 未定 未定 RA地区地区研修・協議会
					●	5	9	土 13:00～ 第28回地区インター・アクト海外派遣研修説明会
△	△	△	△	△	△	△	△	△ 5 10 日 未定 地区研修・協議会
●	●	●	●	●	●	●	●	● 5 23～24 土・日 未定 RA地区年次大会
				△	●	5	未定	未定 日本青少年交換研究会・全国会議
				△	●	6	6	土 15:00～17:00 新旧地区インター・アクト委員会引継ぎ会議
△		△	●		6	6～7	土・日	9:00～ 第28回地区インター・アクトクラブ海外派遣研修 第1回事前研修会
				●	6	20	土	10:00～11:00 第13回地区青少年交換委員会
				●	6	20	土	11:00～16:00 第8回YEPオリエンテーション(BBQ)
				●	未定	未定	未定	未定 国際RYLA派遣(選考会で派遣生を決定)
		△	△	未定	未定	未定	未定	未定 全国インター・アクト研究会

2014～2015年度 地区青少年奉仕委員会・各クラブ委員長会議等主要日程

委員会名	地区青少年奉仕委員会
委員長	秋田 敬治

【地区委員会】

開催日	曜日	時間	会合名	場所
2014 8 23	土	17：30～19：00	地区青少年奉仕委員会	ガバナー事務所分室会議室

【地区内クラブ委員長会議】

開催日	曜日	時間	会合名	場所
2014 9 7	土	16：00～20：00	地区青少年サミット (第1回地区内クラブ青少年奉仕委員長会議)	キャッスルプラザ
2015 3 21	土	未定	第2回地区内クラブ青少年奉仕委員長会議	RYLAセミナー会場

【委員会主要行事】

開催日	曜日	時間	会合名	場所
2014 3 8	土	16：00～19：00	次年度のための地区青少年奉仕関連委員会	アークリッシュ豊橋

2014~2015年度 地区インタークト委員会・各クラブ委員長会議等主要日程

委員会名 地区インタークト委員会
委員長 奥田 清仁

【地区委員会】

開催日		曜日	時間	会合名	場所
2014	7	19	土	14:00~17:00	第1回 地区インタークト委員会 愛知青年の家(岡崎)
〃	10	3	金	14:00~17:00	第2回 地区インタークト委員会 未定
2015	1	16	金	14:00~17:00	第3回 地区インタークト委員会 未定
〃	4	17	金	14:00~17:00	第4回 地区インタークト委員会 未定
〃	6	6	土	15:00~17:00	新旧地区インタークト委員会引継会議 愛知青年の家(岡崎)

【地区内クラブ委員長会議】

開催日		曜日	時間	会合名	場所
2014	9	7	日	14:00~16:00	地区インタークト顧問・委員長会議 キャップルプラザ
2015	2	7	土	15:00~17:00	地区インタークト次期役員・委員長会議 名古屋YMCA会議室

【委員会主要行事】

開催日		曜日	時間	会合名	場所
2014	7	19	土	9:00~	第27回 海外派遣研修
〃	~	20	日	9:00~	第2回 海外派遣研修事前研修会 愛知青年の家(岡崎)
〃	7	21	月	未定	地区インタークト年次大会 未定
〃	7	23	水	—	第27回 地区インタークト海外派遣研修 パース／AUS
〃	~	31	木	—	第27回 地区インタークト海外派遣研修 事後研修会 名古屋YMCA会議室
〃	8	23	土	13:30~17:00	青少年サミット キャップルプラザ
〃	9	7	日	13:00~	RC地区大会 ロータリー青少年ファミリー交流会 ウエスティンナゴヤキャップル
2015	2	22	日	未定	RC地区研修・協議会 未定
〃	4	13	日	未定	第28回 地区インタークト海外派遣研修 説明会 名古屋YMCA会議室
〃	5	9	土	13:00~	第28回 海外派遣研修 愛知青年の家(岡崎)
〃	6	6	土	9:00~	第1回 海外派遣研修事前研修会
〃	~	7	日	9:00~	

2014~2015年度 地区ローターアクト委員会・各クラブ委員長会議等主要日程

委員会名	地区ローターアクト委員会
委員長	西本 一幸

【地区委員会】

開催日			曜日	時間	会合名	場所
2014	7	13	日	14:00~17:00	第1回 地区ローターアクト委員会	ローズコートホテル
〃	9	7	日	12:30~13:30	第2回 地区ローターアクト委員会	キャッスルプラザ
〃	11	9	日	14:00~17:00	第3回 地区ローターアクト委員会	ローズコートホテル
2015	1	18	日	14:00~17:00	第4回 地区ローターアクト委員会	ローズコートホテル
〃	4	5	日	14:00~17:00	第5回 地区ローターアクト委員会	ローズコートホテル

【地区ローターアクト主要行事】

開催日			曜日	時間	会合名	場所
2014	7	13	日	14:00~17:00	第1回地区RA会長・幹事会	ローズコートホテル
〃	9	7	日	未定	第2回地区RA会長・幹事会	キャッスルプラザ
〃	9	7	日	未定	青少年サミット	キャッスルプラザ
〃	9	14	日	未定	RA地区親睦	未定
〃	10	4~5	土~日	未定	RA国内研修	未定
〃	10	未定	未定	未定	RA 3地区合同プロジェクト	長野
〃	11	1~3	土~月	未定	第2回ワールドフードふれ愛フェスタ	名古屋・栄
〃	11	9	日	14:00~17:00	第3回地区RA会長・幹事会	ローズコートホテル
2015	1	18	日	14:00~17:00	第4回地区RA会長・幹事会	ローズコートホテル
〃	2	21~22	土~日	13:00~16:00	地区大会	ウェスティンナゴヤキャッスル
〃	2	13~15	金~日	未定	RA海外研修	未定
〃	3	21~22	土~日	未定	第27回全国RA研修会	福島
〃	3	21~22	土~日	未定	RYLAセミナー	美浜少年自然の家
〃	4	5	土	14:00~17:00	第5回地区RA会長・幹事会	ローズコートホテル
〃	未定	未定	未定	未定	RA地区研修・協議会	未定
〃	5	23~24	土~日	未定	RA地区年次大会	未定

2014～2015年度 地区RYLA委員会・各クラブ委員長会議等主要日程

委員会名	地区RYLA委員会
委員長	谷山 芳和

【地区委員会】

開催日			曜日	時間	会合名	場所
2014	5	10	土	14:00～17:00	RYLAセミナー準備会	未定
〃	7	5	土	14:00～17:00	第1回 地区RYLA委員会	豊田福祉センター
〃	8	7	木	14:00～17:00	第1回 地区RYLA委員会ホストクラブ合同会議	未定
〃	9	13	土	14:00～17:00	第2回 地区RYLA委員会	豊田福祉センター
〃	10	9	木	14:00～17:00	第2回 地区RYLA委員会ホストクラブ合同会議	
〃	11	8	土	14:00～17:00	第3回 地区RYLA委員会	豊田福祉センター
〃	12	11	木	14:00～17:00	第3回 地区RYLA委員会ホストクラブ合同会議	
2015	1	10	土	14:00～17:00	第4回 地区RYLA委員会	豊田福祉センター
〃	2	5	木	14:00～17:00	第4回 地区RYLA委員会ホストクラブ合同会議	
〃	2	未定	未定	14:00～17:00	全国RYLA研究会	東京
〃	3	14	土	14:00～17:00	第5回 地区RYLA委員会	豊田福祉センター
〃	3	未定	未定	14:00～17:00	第22回 地区RYLAセミナー最終合同会議	
〃	3	21	土	終日	RYLAセミナー	美浜少年自然の家
〃	～	22	日			
〃	4	11	土	14:00～17:00	第6回 地区RYLA委員会	豊田福祉センター
〃	未定	未定	未定	未定	国際RYLA派遣選考会	未定

【委員会主要行事】

1.地区RYLAセミナー

平成27年3月21日22日 愛知県美浜少年自然の家
〒470-3236 愛知県知多郡美浜町大字小野浦字宮後1-1
【TEL】0569-88-5577 【FAX】0569-88-5385

2.国際RYLA派遣

主要行事の国際RYLA派遣につきましては7月過ぎに募集要項を配布し選考会をへて派遣生を決定いたします。
開催地も7月過ぎに発表いたします。

2014~2015年度 地区青少年交換委員会・各クラブ委員長会議等主要日程

委員会名 地区青少年交換委員会

委員長 岡田 雅隆

【地区委員会】

開催日		曜日	時間	会合名	場所
2014	7	5	土	9:00~10:00	第1回 地区青少年交換委員会
々	8	2	土	9:00~10:00	第2回 地区青少年交換委員会
々	8	30	土	11:00~14:00	第3回 地区青少年交換委員会
々	9	7	土	12:00~13:00	第4回 地区青少年交換委員会
々	10	11	土	13:00~14:00	第5回 地区青少年交換委員会
々	10	26	土	15:00~16:00	第6回 地区青少年交換委員会
々	11	15	土	13:00~14:00	第7回 地区青少年交換委員会
々	12	14	日	9:00~10:00	第8回 地区青少年交換委員会
々	12	20	土	13:00~14:00	第9回 地区青少年交換委員会
2015	1	24	土	13:00~14:00	第10回 地区青少年交換委員会
々	2	14	土	13:00~14:00	第11回 地区青少年交換委員会
々	3	19	木	10:00~11:00	第12回 地区青少年交換委員会
々	6	20	土	10:00~11:00	第13回 地区青少年交換委員会

【委員会主要行事】

開催日		曜日	時間	会合名	場所
2014	7	5	土	10:00~12:00 14:00~17:00	第9回 オリエンテーション・受入説明会
々	8	2	土	10:00~12:00 13:00~17:00	第10回 オリエンテーション 2015/2016年度 派遣学生・選考テスト及び面接
々	8	30	土	未定	第1回 交流会 及びオリエンテーション
々	~	31	日	未定	犬山ユースホステル
々	9	7	日	13:00~	帰国報告会・第2回 オリエンテーション (地区青少年サミットを兼ねる)
々	10	11	土	14:00~17:00	第3回 オリエンテーション
々	10	25	土	14:00~17:00	ホストファミリー懇談会
々	11	15	土	14:00~17:00	第4回 オリエンテーション
々	12	14	日	未定	INBOUND研修旅行
々	~	16	火	未定	東京方面
々	12	20	土	14:00~16:00 16:30~18:30	第5回 オリエンテーション ROTEX主催 クリスマスパーティー
2015	1	24	土	14:00~17:00	第6回 オリエンテーション
々	2	14	土	14:00~17:00	三者懇談会
々	2	22	日	未定	RC地区大会 ロータリー青少年ファミリー交流会
々	3	19	木	未定	ウェスティンナゴヤキャッスル
々	~	21	土	未定	第28回白馬RC主催交換学生スキーの集い (第7回オリエンテーションを兼ねる)
々	5	未定	未定	未定	長野県白馬
々	6	20	土	11:00~16:00	日本青少年交換研究会(全国会議)
々					未定
々					サンパーク犬山

新世代のためのロータリー・プログラム

(Rotary's Programs for New Generations)

使命 (Mission)

各ロータリアンの責務は、年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることである。

すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されている。

基本的ニーズとは：健康、人間の価値、教育、自己開発。

健康：ポリオ・プラス

保健教育

児童の早期教育

薬物濫用およびアルコール過飲防止

エイズへの理解

障害者支援

貧困に関するプログラム

飢餓問題

人間の価値：

地域社会に人間の普遍的価値を推進

家族と地域社会の模範となる

両親による指導プログラム

クラブ奉仕プロジェクトに家族を参加させる

世代間のプログラム

人格陶冶プログラム

紛争解決プログラム

子供の権利に関するロータリーの方針を支援

教育：

機能的識字率の向上

奨学金

青少年交換

職業研修

青少年のための職業実習

地域社会における青少年のイメージ・アップ

新世代のニーズに対する地域社会の理解を深める

自己開発：

新世代のためのロータリー会議

インターフェクトとロータリアクト・クラブ会員の指導者講習会

ロータリー青少年指導者養成プログラム

新世代のための月間 (New Generations Month)

年齢30歳までの若い人の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てるために、9月は新世代のための月間に指定されている。

ロータリー・クラブは、「各ロータリアンは青少年の模範」(Every Rotarian an Example to Youth)という標語を、新世代のための月間中のクラブ会報や広報資料に使うよう奨励されている。（ロータリー章典44.070）

新世代のための会議 (Conferences For Youth Service)

ロータリー・クラブは、地域社会レベルで、新世代が地域の指導者と感心事を話し合い；希望、夢、抱負を表明し、自分と居住地域社会の問題の解決を探るため討論の場を提供しなければならない。（ロータリー章典44.080）

新世代のための会議の目的は、地元レベルで、地域指導者と若い人の対話の場をつくることである。

- 1) 若い人がその感心事を述べ、未来の夢を明確にし、目標達成に必要な支援を見極める機会を提供すること。
- 2) 地域社会のニーズを検討するときに、地域の指導者に対して若い人の参加を奨励すること。
- 3) 立派な地域社会をつくるのはみんなの責任であるという自覚を植え付けること。

子供の権利 (Rights of Children)

RI理事会は、子供の権利に対するRIの姿勢について次の声明を採択した。

- 1) 傷つきやすいがゆえに、子供には特別な配慮と保護が必要である。
- 2) 世界中のすべての国に、非常に困難な事情の下に生活している子供達が存在している。
- 3) すべての子供たちは、平和、尊厳、寛容、自由、平等な環境の下で成人することができなければならぬ。

RIは以上のこと認識して、すべての子供が、十分な食糧、住居、保健衛生、教育を受け、虐待、暴力から守られる権利を有することを保証、支援する。

世界中のロータリー・クラブは、人権、信条、国籍に関係なく、すべての子供達のこれらの権利を保護することに献身する。（ロータリー章典42.040.1）

青少年障害者 (Youth with Disabilities)

青少年プロジェクトに障害者を参加させるべきである。

ロータリー・クラブと地域は、障害者への奉仕経験をもつ既存団体に接触し、あらゆる援助を与えなければならない。青少年奉仕団体とクラブのあるべき関係に関する声明は、障害者奉仕団体とクラブの関係にも適用される。

ロータリー・クラブと地区は、次のことを行うよう奨励されている。

- 1) できれば、青少年障害者にインターフラブに入会するよう誘う。
- 2) 障害者に職業相談会に参加するよう誘う。そしてその相談会で、障害者を持つ労働者または障害者とともに行動している団体の一員に、障害者が学業終了後どのような職業につけるか話してもらう。
- 3) 青少年障害者にロータリー青少年指導養成プログラムに参加するよう誘う。
- 4) 障害者の力になれる方法を見いだすため、地元レベル、全国レベル、国際レベルの障害者団体に接することから生まれる地元プロジェクトなどに障害者を参加させる。

青少年問題に取り組む (Addressing Youth Problems)

クラブは、犯罪に青少年が巻き込まれているかどうか調べ、地元の状況に照らして、問題軽減に何ができるかを決めるよう奨励されている。

その際、適切であれば、ロータリアクトとインターフラブの援助をもとめること。クラブと地域は、できる限りの手段を通じてピア・サポート・プログラムを開始、推進するよう奨励されている。

RI会長・RID2760ガバナー 青少年(新世代)奉仕委員会の経緯

年度	R I 会長	RID2760ガバナー	委員会名・地区委員長
1991~92	ラジェンドK.サブー(インド) 自分を超えた目を	加納 泉(名古屋中RC)	青少年活動(奉仕)委員会 内山 卵(豊橋RC)
1992~93	クリフォードL.ダグターマン まことの幸福は人助けから	神戸政治(あまRC)	青少年活動(奉仕)委員会 内山 卵(豊橋RC)
1993~94	ロバートR.バース(スイス) 行動に信念を、信念に行動を	宮地信尚(豊川RC)	青少年奉仕委員会 内山 卵(豊橋RC)
1994~95	ビルH.ハントレー(イギリス) 友達になろう	蜂谷弘道(名古屋和合RC)	青少年奉仕委員会 宮本昌幸(岡崎南RC)
1995~96	ハーバードG.ブラウン(アメリカ) 真実の行動・自愛の奉仕・平和の挺身	石川和正(豊橋RC)	青少年奉仕委員会 宮本昌幸(岡崎南RC)
1996~97	ルイス・ビセンテ・ジアイ(アルゼンチン) 築け未来を・行動と先見の目で	松本 宏(半田RC)	青少年奉仕委員会 加藤正男(岡崎南RC)
1997~98	グレンW.キンロス(オーストラリア) ロータリーの心を	犬飼栄輝(名古屋東南RC)	青少年奉仕委員会 加藤正男(岡崎南RC)
1998~99	ジェームスL.レイシー(アメリカ) ロータリーの夢を追い続けよう	内藤明人(名古屋西RC)	青少年奉仕委員会 坂本康信(名古屋RC)
1999~00	カルロ・ラビツツア(イタリア) 活動は一堅実・信望・持続	野村重彦(刈谷RC)	新世代委員会 坂本康信(名古屋RC)
2000~01	フランクJ.デブリン(メキシコ) 意識を喚起一進んで行動を	福田清成(江南RC)	新世代委員会 鶴田欣也(名古屋南RC)
2001~02	リチャードD.キング(アメリカ) 人類が私たちの仕事	太田賢太郎(岡崎RC)	新世代委員会 保浦丈夫(西春日井RC)
2002~03	ビチャイ・ラタクル(タイ) 慈愛の種を播きましょう	岡部快圓(名古屋大須RC)	新世代委員会 保浦丈夫(西春日井RC)
2003~04	ジョナサンB.マジアベ(ナイジェリア) 手を貸そう	豊島徳三(一宮北RC)	新世代委員会 藤井 忠(西春日井RC)
2004~05	グレンE.エステス.シニア(アメリカ) ロータリーを祝おう	大島宏彦(名古屋RC)	新世代委員会 藤井 忠(西春日井RC)
2005~06	カール・ヴィルヘルム・ステンハマー(スウェーデン) 超我の奉仕	高橋治朗(名古屋西RC)	新世代委員会 藤井 忠(西春日井RC)
2006~07	ウィリアム(ビル)B.ボイド(ニュージーランド) 率先しよう	斎藤直美(豊田RC)	新世代委員会 加藤康治(一宮中央RC)
2007~08	ウィルフリッドJ.ウィルキンソン ロータリーは分かちあいの心	江崎柳節(小牧RC)	新世代委員会 加藤康治(一宮中央RC)
2008~09	李 東建 夢をかたちに	片山主水(名古屋東南RC)	新世代委員会 遠山堯郎(名古屋瑞穂RC)
2009~10	ジョン・ケニイ ロータリーの未来はあなたの手の中に	大澤輝秀(豊川RC)	新世代委員会 遠山堯郎(名古屋瑞穂RC)
2010~11	レイ・フリンギンスミス 地域を育み、大陸をつなぐ	田嶋好博(名古屋北RC)	
2011~12	カルヤン・バネルジー こころの中を見つめよう 博愛を広げるために	松前憲典(一宮中央RC)	新世代奉仕委員会 秋田敬治(豊田RC)
2012~13	田中 作次 奉仕を通じて平和を	千田 毅(名古屋東RC)	新世代奉仕委員会 秋田敬治(豊田RC)
2013~14	ロン・バートン ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を	田中正規(西尾RC)	青少年奉仕委員会 秋田敬治(田原RC)
2014~15	ゲイリー C.K. ホアン ロータリーに輝きを	近藤雄亮(名古屋瑞穂RC)	青少年奉仕委員会 秋田敬治(田原RC)

危機管理の必要性について

RI第2760地区
2014~2015年度 危機管理委員会
委員長 黒田 勝基 (高浜RC)
NPO法人 国際ロータリー日本
青少年交換委員会 研修担当委員

1. 危機管理の仕組みがなくても、すべてのロータリー奉仕活動も含めた 各活動が展開できますか?

- ①2009.01.24日にアメリカオレゴン州で青少年交換学生が無差別発砲事件に巻き込まれ死亡したという、大変不幸な事件が発生してしまいました。その時の米国危機管理委員会の対応は素晴らしいものでした。
- ②2011.3.11の際に、我々ロータリアンは全ても活動が安全面も含めてコントロールできていたでしょうか?

2. ロータリーに関しての青少年育成プログラムの歴史-1905年の創立当初からの最重要テーマであり続けた

国際ロータリー章典で詳細まで定められていて、国際統一ルールの下での奉仕プログラム：IA、RA、RYLA、YE…1968年から続いているD.2760 の青少年交換プログラム =元RI会長からの青少年奉仕は最重要というメッセージ

- ・4つのテストの「ハーバート・ティラー」の言葉『我々の将来は…』
 - ・2005-06年度のRI会長の青少年交換プログラムについてのメッセージ『全世界の高校生が…』
- そのロータリー章典で危機管理の仕組みが必須条件で組込まれた=青少年と接する際の行動規範に関する声明

3.RIが急に危機管理の仕組みを導入することになったかの経緯

大阪世界大会での暴露・PGの逮捕、巨額賠償が請求されているなどなど
日本独特的文化的風土-酒、対応など-国際基準とのギャップ

4.リスクを想定すること =それが危機管理

最も費用も時間も、組織のダメージ（評価、信用…）も少なくできること、それは危機を想定（想像）することそして、シミュレーション（想定訓練）を繰り返すこと

5.危機管理対応の『3つのパターン』と『3つのステージ（事前、事中、事後）』

- ①事故、自然災害、病気（SARSなどの伝染病、手術などへの対応）のとき
 - ②ロータリー青少年育成プログラムに正式参加している学生が加害者になったとき
家庭のルール、クラブのルール/学校のルール、RIのルール/国の法律
 - ③ボランティアが起こす虐待&ハラスメントに対応するとき
- それぞれの、事前対応（リスク回避）、事中対応（クライシス軽減）、事後対応（アフターケア）を想定
→事前想定・事前準備・想定訓練（シミュレーション）で危機回避が最も有効

6.虐待&ハラスメントを防止し、万が一に発生した時の対応の仕組み

青少年奉仕各プログラムに参加するクラブはRI章典に決められた事項を遵守する必要があります
また、ロータリーの奉仕プログラム全体（国際奉仕なども含め）でも発生する可能性があるため、対応を取っておく必要があります。

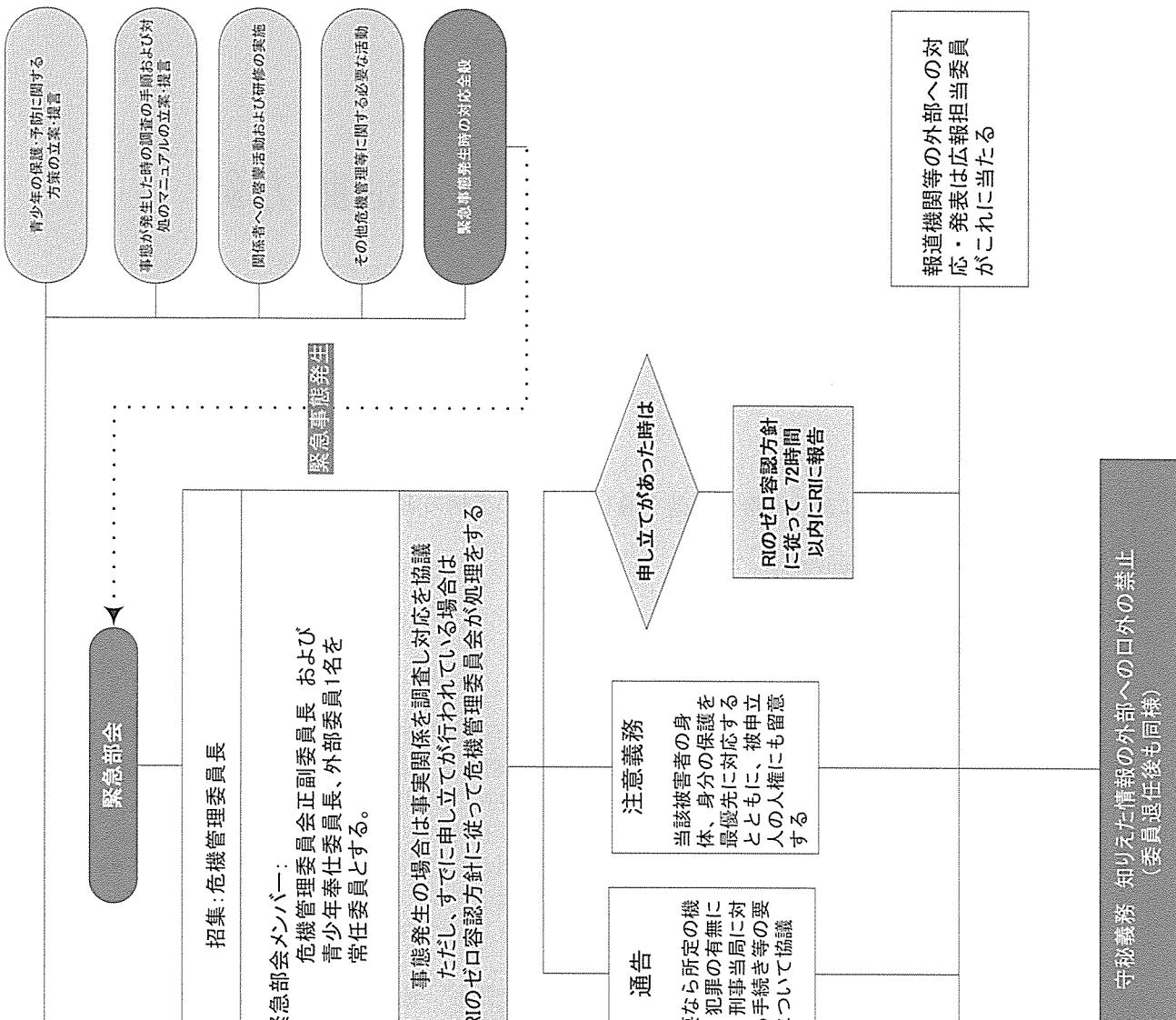
- ①地区及びクラブの方針・申し立てと報告の手順・ボランティア誓約書（学生を守る事前のチェックポイント）
- ②危機管理委員会の設置（世界共通の組織）= D.2760危機管理委員会および緊急連絡網
- ③賠償責任保険に加入=NPO法人「国際ロータリー日本 青少年交換委員会」の創設と加入

7.危機管理の必要性は、企業のリスクマネジメント、家庭における防災訓練と各種保険制度と共通（同種）なものです。

車を運転するときも、台風が来るときも、健康保険に加入するのも、賠償責任保険に加入するのも、危険を回避し、万が一発生した時に被害が最小限になるようにとの思いからです。

ロータリーの奉仕活動で、この危機（リスク）がないことはあり得ません。想像が重要です。

主な任務



国際ロータリー 第2760地区危機管理委員会 組織図
設置場所：第2760地区ガバナーリース内

2014年7月1日より

カウンセラー(複数可)
PDG・GE・GN・GNDで構成
注)GNDはガバナー、ミニ・
デジタルキート

青少年交換委員長 ★
青少年奉仕委員長 ★

危機管理委員長
(G.補佐・G補佐経験者)
(ガバナーによる指名) ★

危機管理副委員長
ガバナー補佐 ★

必要がある場合、任命
ローターアクト委員長
青少年奉仕関連委員で代行可

RYLA委員長
青少年奉仕関連委員で代行可

その他必要と認められる委員

その他必要と認められる委員

広報関係者(できるだけ専門的な報道官の選任が重要) ★

ロータリー以外の有識者(1) ★

ロータリー以外の有識者(2)

その他の必要な人

女性、弁護士、医師
女性1名以上

地区インターラクト委員会・活動方針

RI第2760地区
2014～2015年度
地区インターラクト委員会
委員長 奥田 清仁（豊田RC）

インターラクターは、地域における奉仕活動を通して下記の事柄の重要性を学び、更なる意識の高揚を育みます。

- ① 指導力とその誠実な人格の育成
- ② 他者を尊重し、進んで助ける態度
- ③ 各自の責任を果たし、懸命に努力することの尊さ
- ④ 國際理解と親善の推進

1963年6月27日に日本最初のIACとして、宮城県の仙台育英学園高校IA結成されました。提唱は、仙台東RC（宮城県、第2520地区）当時の第352地区、100人を超える人数で誕生しました。日本第1号のこのIACは、当時、世界最多の会員数を擁していました。現在、2760地区には各地の高校・高専に15のインターラクトクラブが22の提唱ロータリークラブにより提唱され、募金活動や障害児や高齢者の支援活動、地域の清掃活動等、それぞれのクラブの特色を出しながら活発に行なわれております。また、近年はインターラクトクラブ顧問の先生同士や地区委員会メンバーとの情報の共有をメールやインターネットを通じて進めてきたことにより、地区内のクラブ同士の交流も盛んに行われるようになってまいりました。

地区インターラクト委員会としてはその役目をしっかりと認識し、地区内クラブのさらなる活動の活性化を図るための情報提供と環境づくりに努めてまいります。また、深刻な状況にあった会員数の減少に改善傾向が見られるようになりましたが、今後とも会員増強の必要性を認識すると共に新たなクラブの創設についても合わせて検討してまいります。

今後とも提唱ロータリー様を初めとして地区役員の皆様、地区内の関係するすべての皆様に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○ インターアクト要覧の全体図

2回以上／月	【会員及び会員】	IA要覧 P 1.2	【会員】	IA要覧 P 1.1	【奉仕プロジェクトのアイデア】	IA要覧 P 1.2～1.4
	1 例会開催	2 例会の進行	3 会員	1 会員卓強の目標設定	6 1	4 6
	IA C の歌	会員によるゲストの紹介	会員卓強の目標設定	正確な会計記録維持	最終決算報告	環境保全
	会長によるゲストの紹介	各会員に毎年1名の新会員を入会させるようお願い	各会員に毎年1名の新会員を入会させるようお願い	予算作成の中心人物	クラブと次期会計に最終報告	体が不自由な人の支援
	連絡事項	注意事項	幹事、会計、委員会委員長による関連報告	細部に目の行き届く責任感のある人	青少年向けプログラム	健康・栄養管理
	新会員の紹介	最も多く新会員を推薦したクラブ会員に各IA C会長賞を授与	最も多く新会員を推薦したクラブ会員に各IA C会長賞を授与	2 会費徴収	5 月初、月末残高 入金内訳 出金内訳	3 全ての会計報告書を幹事に渡し、幹事が保管
	プログラムの実施	新会員世話を段々と選任	新会員世話を段々と選任	2 会費徴収	5 月初、月末残高 入金内訳 出金内訳	3 教育
	講演者、参加者に感謝	最低出席率60%以上	最低出席率60%以上	2 会費徴収	5 全ての会計報告書を幹事に渡し、幹事が保管	5 地域社会の諸施設
	解散	解散	解散	2 会費徴収	5 全ての会計報告書を幹事に渡し、幹事が保管	5 総会活動
	【幹事】	IA要覧 P 1.0	【幹事】	IA要覧 P 1.0	【幹事】	IA要覧 P 3.1
RIへの書類提出	2 役割	記録作成	4 議事録作成	4 会員活動記録表	1 奉仕プロジェクトのアイデア	4 細則改正の方法
	会員活動記録表	委員会委員一覧表	会員の種類 日付、時間、場所	会員の種類 日付、時間、場所	1 会員及び会員	1 常任委員会の設置
	出席記録表	出席記録表	司会にあたった役員	司会にあたった役員	2 【幹事】	2 理事会の定足数 4名の理事
	会費納入記録表	会員由込財政の原本管理	前回会合の議事録の承認と訂正	前回会合の議事録の承認と訂正	3 【幹事】	1名は会長 副会長 1回以上／月
	IA次期役員情報資料書式	IAへの提出書類	役員及び委員会の報告	役員及び委員会の報告	4 【幹事】	3 【幹事】
	IAプロジェクト情報資料書式	IAプロジェクト情報資料書式	決定事項と プログラムの概要 連絡事項	決定事項と プログラムの概要 連絡事項	5 【会長】	5 理事会開催 1回以上／月
	全ての会合の議事録作成	閉会時間	委員会構成	委員会構成	6 【会長・副会長】	6 その他
	【委員会開成】	IA要覧 P 1.1	【委員会開成】	IA要覧 P 1.1	7 【会長・副会長】	7 理事の選挙の方法
	1 クラブ委員会	2 財務委員会	4 国際理解委員会	1 会員の増強	8 【会長・副会長】	8 細則改正の方法
	貢献	出席率	国際親善を推進する プロジェクトを1件実施	4 運営体制 7 提唱RC	9 【会長・副会長】	9 細則改正の方法
例会の実施	会員組織	資金調達方法の検討	会員の特性(徳性)を 見出し、活用する 1件実施	1 IAC顧問 2 地区IA委員 3 地区IA委員長 4 地区内連携 5 各種委員会委員長の責務 6 会員の意見を聞く 7 RAとの交流	10 【会長・副会長】	10 R Y L Aへの参加
	例会のプログラム	新会員募集中方法	会員の担当業務を 持たせ遂行状況の 確認	1 地区IA委員 2 地区IA委員長 3 地区内連携 4 海外IA C会員との メール交流	11 【会長・副会長】	11 地元新聞社への アピール
	広報	退会防止の検討	会員の特性を学ぶ。 記録類に目を通す	1 地区IA委員 2 地区IA委員長 3 地区内連携 4 海外IA C会員との メール交流	12 【会長・副会長】	12 提唱RC広報委員会に 協力要請
	新会員募集中方法	広報の方法の検討	会員に担当業務を 持たせ遂行状況の 確認	1 地区IA委員 2 地区IA委員長 3 地区内連携 4 海外IA C会員との メール交流	13 【会長・副会長】	13 地元新聞社への アピール
	退会防止の検討	広報の方法の検討	会員の特性を学ぶ。 記録類に目を通す	1 地区IA委員 2 地区IA委員長 3 地区内連携 4 海外IA C会員との メール交流	14 【会長・副会長】	14 提唱RC広報委員会に 協力要請
	広報	写真やスクラップ	会員の知識レベルの確認 委員に発言の機会を与える	1 地区IA委員 2 地区IA委員長 3 地区内連携 4 海外IA C会員との メール交流	15 【会長・副会長】	15 提唱RC広報委員会に 協力要請
	新会員募集中方法	などクラブの歴史的 記録を維持する	会員の知識レベルの確認 委員に発言の機会を与える	1 地区IA委員 2 地区IA委員長 3 地区内連携 4 海外IA C会員との メール交流	16 【会長・副会長】	16 提唱RC広報委員会に 協力要請
	退会防止の検討	広報の方法の検討	会員の知識レベルの確認 委員に発言の機会を与える	1 地区IA委員 2 地区IA委員長 3 地区内連携 4 海外IA C会員との メール交流	17 【会長・副会長】	17 提唱RC広報委員会に 協力要請
	広報	写真やスクラップ	会員の知識レベルの確認 委員に発言の機会を与える	1 地区IA委員 2 地区IA委員長 3 地区内連携 4 海外IA C会員との メール交流	18 【会長・副会長】	18 提唱RC広報委員会に 協力要請
	新会員募集中方法	などクラブの歴史的 記録を維持する	会員の知識レベルの確認 委員に発言の機会を与える	1 地区IA委員 2 地区IA委員長 3 地区内連携 4 海外IA C会員との メール交流	19 【会長・副会長】	19 提唱RC広報委員会に 協力要請

インターラクト・クラブ提唱の意義

多くのロータリアンが主張しているように、最も満足いくロータリーエクスperienceは、若い人と共に行動することから得られます。人生の中途中にいる若い人達に明日を担う指導者となるよう、地域の青少年の育成に寄与できる最も効果的な方法として、ロータリー・クラブがインターラクト・クラブを提唱することを奨励しているのであります。

1. インターラクト・クラブは、無関心・無気力・目的意識のない若い人が陥りやすい非社会的な行動・非合法な行動への道へ進めないためにも目的意識を持たせ、結果として奉仕と友好という気持へ誘う機会となります。
2. インターラクト・クラブは、自己研鑽の中で、互いに助け合い、アイディアを分かち合い、そのうえで協力をする喜びを知ることにより、家庭・学校・社会及び国際奉仕の眞の理解と研修を積むことができる所以あります。
3. インターラクト・クラブは、広範囲にわたり奉仕プロジェクトを開発、遂行しております。
例えば、価値ある目的のために募金活動をし、障害児・高齢者・その他地域で援助を必要としている人々に協力・支援の活動を行っています。
4. インターラクト・クラブは、毎年少なくとも二つの奉仕プロジェクトを遂行しております。
その一つは学校又は地域社会に奉仕するもので、もう一つは国際理解させる場面を考え、国際感覚を育むものであります。
5. インターラクト・クラブは、必ずロータリー・クラブによって提唱されるものであり、ロータリー・クラブは継続的に指導・助言する責務を負います。ある面からすれば、インターラクト・クラブの成否は提唱側のロータリアンの積極的な参加と支援によって決まるものであると言っても過言ではありません。そのことを認識し健全なる運営並びに拡大に努めることが必要です。
インターラクト・クラブの結成にあたっては、以上の要点を十二分に理解をし、クラブ内におけるロータリアンの関心を最大限まで高め東ねることが肝要であります。

インターラクト・クラブに対するロータリー・クラブの役割

国際ロータリーが設定した機構のもとに、提唱ロータリー・クラブは、インターラクト・クラブを結成し、その後指導と助言を与える責任を有し、かつインターラクト・クラブの全ての活動、方針並びにプログラムを完全に統括し、かつ指導監督します。

提唱ロータリー・クラブの責務は、インターラクト・クラブの加盟認証で終結をするわけではありません。インターラクト・クラブが強力で効果的な奉仕活動とクラブ運営を行っていくには、ロータリー・クラブの絶えざる指導と支援が必要となってまいります。

ロータリーのインターラクト委員会又は青少年奉仕委員会は主要な責務を引き受けますが、クラブ会員のひとりひとりが進行中のインターラクト活動を理解し、必要に応じて助言・協力することにあります。

インターラクト・クラブを成功させることのできる方法は

- 1. 地域社会を基盤とするインターラクト・クラブの場合は、ロータリー・クラブのインターラクト委員会の委員が少なくとも1名の委員が毎回の会合に出席すること。
- 2. インターラクターにロータリー・クラブの例会に出席してもらい、ロータリー・クラブの活動について他のインターラクターへの報告をしてもらうこと。
- 3. 毎年少なくとも1度は、ロータリー・クラブとインターラクト・クラブの合同奉仕プロジェクトを実施すること。
- 4. ロータリー・クラブのインターラクト委員長が、インターラクト・クラブの会合の全報告を受け取れるようにすること。
- 5. 地区ガバナーの公式訪問の時は、インターラクト・クラブ会長・幹事が面談の時間が取れるようになること。
- 6. インターラクト・クラブのプロジェクトを指導・支援することによって、インターラクト・クラブが積極的な奉仕プログラムを遂行できるように力を貸すこと。
- 7. ロータリー・クラブの活動をインターラクターに知らせ、参加のできる場面であるのなら、その参加を奨励し、コミュニケーションを図ること。
- 8. インターラクト・クラブの行っている業績を評価し、その貢献に対して報いる方法を開発し、啓蒙させること。
- 9. インターラクト・クラブに、クラブ会報を発行するよう奨励すること。
- 10. 会員増強の指針を提供すること。

1.インタークト・クラブ(協議会)年次大会経緯

2009~10年度より変更

※IAC()内は留学生

回	ローテリー 年度	テーマ	開催日	開催場所	ホスト		参加者数			
					RC	IAC	IAC	顧問	RC	合計
1	1990~91	広げよう友情と豊かな心	90.7.22(日)	豊橋市民文化会館	豊橋	豊橋商業	263	23	207	493
2	1991~92	ここに集えインタークター	91.7.21(日) ~22(月)	豊川閣	豊川	豊川	277	22	166	465
3	1992~93	時代は今インタークト	92.7.26(日)	豊田市民文化会館	豊田	豊田高専	256	23	224	503
4	1993~94	さわやか体験 新しい自分を見つけるために	93.7.25(日)	岡崎信用金庫本店	岡崎南	岡崎城西	303	25	178	506
5	1994~95	ボランティアを考える	94.7.31(日)	名古屋港湾会館	名古屋	名古屋	371	27	106	504
6	1995~96	国際交流と奉仕を学ぼう	95.7.23(日)	岡崎勤労福祉会館	岡崎	岡崎学園	430	29	238	697
7	1996~97	体験を語り合おう	96.7.21(日)	安城市文化センター	安城	安城学園	384	31	99	514
8	1997~98	やってみようみんなで 感じてみよう自分で	97.7.20(日)	津島勤労福祉会館	津島	津島女子	357	31	172	560
9	1998~99	夢	98.7.19(日)	一宮スポーツ 文化センター	一宮北・一宮 尾西・一宮中央	一宮女子	352	27	193	555
10	1999~00	はばたけ21世紀へ	99.7.20(祝)	岡崎信用金庫本店	岡崎東	光ヶ丘女子	358	33	182	573
11	2000~01	ゆ	00.7.20(祝)	大府市勤労文化会館	東知多	阿久比	303	35	204	542
12	2001~02	未来へ向けて 異文化をもっと知ろう	01.7.20(祝)	名古屋ガーデンパレス	名古屋名東	千種	316	33	184	533
13	2002~03	スマイル	02.7.20(祝)	ウェスティングナゴヤキャッスル	名古屋東	桜花学園	261	34	309	604
14	2003~04	思いやり	03.7.20(日)	小牧勤労センター	小牧KC	尾閥学園	260	34	161	455
15	2004~05	で愛・ふれ愛・ささえ愛	04.7.19(祝)	中部大学	春日井・ 名古屋空港・ 豊山・坂北	春日丘	329	37	217	583
16	2005~06	虹～心の架け橋	05.7.18(祝)	豊川高等学校	豊川	豊川	312	33	152	497
17	2006~07	創造～僕らの未来像～	06.7.17(祝)	豊田市民文化会館	豊田	豊田高専	296	32	174	502
18	2007~08	心と心で会話しよう in Toyohashi	07.7.16(祝)	愛知大学	豊橋	豊橋商業	283 (20)	34	165	502
19	2008~09	無限の可能性に向かって Building Friendships	08.7.21(祝)	岡崎信用金庫・本店	岡崎南	岡崎城西	276	34	151	461
20	2009~10	総天然ショック	09.7.20(祝)	名古屋国際会議場	名古屋	名古屋	268	34	261	563
21	2010~11	笑顔咲く未来へ ONE LOVE ONE PEACE	10.7.19(祝)	岡崎信用金庫・本社	岡崎	岡崎学園	283	31	111	425
22	2011~12	子どもの笑顔と未来のために	11.7.18(祝)	安城市文化センター	安城	安城学園	256	28	116	400
23	2012~13	「絆」～世界をつなぐ私たち～	12.7.16(祝)	一宮勤労福祉会館	一宮北・一宮 尾西・一宮中央	修文女子	259	26	123	408
24	2013~14	「和」Interaction	13.7.15(祝)	半田市福祉文化会館	東知多	阿久比	382	30	82	494
25	2014~15	夢を咲かそう～あなたが あなたらしく生きるために～	14.7.21(祝)	岡崎市竜美丘会館	岡崎東	光ヶ丘女子	未	未	未	0

2.インター・アクト・クラブ海外派遣研修経緯

※引率ロータリアン(アドバイザー)の役割 企画・涉外;記録・撮影;生徒指導補助

※運営の詳細は「インター・アクト・クラブ海外研修基本方針」(1996年地区インター・アクト委員会制定)に基づき実施する。

回	ロータリー 年度	研修地	期日	期間	参加者数				備考
					IAC	顧問	RC	合計	
1	1988~89	ハワイ(ソウル経由) ヒロ・ホノルル	1989年 2/6~2/11	5泊6日	12 7	1 1	-	21	愛知・長野 合同開催
2	1989~90	ハワイ(ソウル経由) ヒロ・ホノルル	1989年 8/4~8/9	5泊6日	17 8	1 1	-	27	上段 愛知 下段 長野
3	1990~91	ハワイ(ソウル経由) ヒロ・ホノルル	1990年 7/28~8/3	5泊7日	18 8	2 1	-	29	愛知県 第2760地区となる
4	1991~92	ハワイ(ソウル経由) ヒロ・ホノルル	1991年 7/28~8/3	5泊7日	22 10	2 1	-	35	
5	1992~93	ハワイ(成田経由) ヒロ・ホノルル	1992年 8/3~8/9	5泊7日	24 12	2 1	-	39	
6	1993~94	ハワイ(直行) ヒロ・ホノルル	1993年 8/5~8/11	5泊7日	26 12	2 1	-	41	
7	1994~95	ハワイ(直行) ヒロ・ホノルル	1994年 8/4~8/10	5泊7日	29	3	3	35	第2760地区 単独開催
8	1995~96	ハワイ(直行) ヒロ・ホノルル	1995年 7/27~8/2	5泊7日	32	2	2	36	
9	1996~97	オーストラリア シドニー	1996年 7/26~8/4	9泊10日	35	2	3	40	研修地・期間変更
10	1997~98	オーストラリア シドニー	1997年 7/25~8/3	9泊10日	36	2	3	41	
11	1998~99	オーストラリア シドニー	1998年 7/24~8/2	9泊10日	36	2	3	41	
12	1999~00	オーストラリア シドニー	1999年 7/23~8/1	9泊10日	36	2	3	41	
13	2000~01	オーストラリア ブリスベン	2000年 7/28~8/6	9泊10日	38	2	3	43	研修地変更
14	2001~02	オーストラリア ブリスベン	2001年 7/27~8/5	9泊10日	38	2	3	43	現地IACと 奉仕活動
15	2002~03	オーストラリア ブリスベン(予定)	2002年 7/25~8/3	9泊10日	36	2	3	41	前年度と同じ
16	2003~04	オーストラリア ブリスベン	2003年 7/24~8/2	9泊10日	36	2	3	41	前年度と同じ
17	2004~05	オーストラリア ブリスベン	2004年 7/22~7/31	9泊10日	36	2	3	41	前年度と同じ
18	2005~06	オーストラリア ジーロング メルボルン	2005年 7/22~7/31	9泊10日	36	2	2	40	現地RC訪問と 研修
19	2006~07	オーストラリア ジーロング メルボルン	2006年 7/20~7/29	9泊10日	36	2	3	41	前年度と同じ
20	2007~08	オーストラリア ジーロング メルボルン	2007年 7/20~7/29	9泊10日	35	2	3	40	前年度と同じ
21	2008~09	オーストラリア パース	2008年 7/23~7/31	8泊9日 うち機内1泊	35	2	2	39	研修先変更
22	2009~10	第2650地区 (福井ほか)	2009年 7/28~7/30	2泊3日	29	2	2	33	HINI流行により 国内研修永平寺と清掃に変更
23	2010~11	第2730地区 (鹿児島・知覧)	2010年 7/26~7/29	3泊4日	34	2	2	38	第2730地区IAC と共同募金活動
24	2011~12	ハワイ・ホノルル	2011年 7/28~8/6	4泊5日	25	2	2	29	海外派遣研修復活
25	2012~13	ハワイ・ホノルル	2012年 7/23~7/31	8泊9日	30	2	2	34	前年度と同じ
26	2013~14	オーストラリア・パース	2013年 7/23~7/31	7泊9日	28	2	3	33	研修先変更
27	2014~15	オーストラリア・パース	2014年 7/23~7/31	7泊9日	30	2	3	35	前年度と同じ

インターラクト・クラブ (IAC) 一覧

2014年2月1日現在

学校名(IAC名)	提唱クラブ	2009・2	2010・2	2011・2	2012・2	2013・2	2014・2
豊川高等学校	豊川RC	9	18	13	11	6	9
豊田工業高等専門学校	豊田RC	11	10	13	13	20	32
豊橋商業高等学校	豊橋RC	14	29	30	16	11	33
岡崎城西高等学校	岡崎南RC	9	14	14	19	11	14
名古屋IAC	名古屋RC	16	6	2	1	7	9
人間環境大学岡崎学園高等学校	岡崎RC	14	22	21	11	10	11
安城学園高等学校	安城RC	14	24	21	8	17	26
修文女子高等学校	一宮北RC 一宮RC 尾西RC 一宮中央RC	20	15	11	8	18	30
光ヶ丘女子高等学校	岡崎東RC	27	42	30	30	33	20
阿久比高等学校	東知多RC	11	10	13	4	4	12
千種高等学校	名古屋名東RC	10	17	14	14	21	48
桜花学園高等学校	名古屋東RC 名古屋千種RC 名古屋昭和RC	29	43	51	30	26	46
譽学園高等学校	小牧RC	17	22	13	2	3	20
春日丘高等学校	春日井RC 名古屋城北RC 名古屋空港RC	42	39	22	26	33	64
愛知啓成高等学校	稲沢RC	-	31	37	23	19	35
合計	提唱22クラブ	243	342	305	216	239	409

※4月以降の新1年生の新会員が入部され、2014-2015年度の活動会員数が確定されます。

地区ローターアクト委員会・活動方針

RI第2760地区
2014～2015年度
地区ローターアクト委員会
委員長 西本 一幸（名古屋南RC）

『ローターアクトの目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだによりよい信頼関係を推進するための機会を提供することにある。』

ローターアクトの目標は次の通りである。（国際ロータリーによる手続き要覧より抜粋）

1. 専門技術及び指導能力を開発すること
2. 他人の権利を尊重する觀念を養い、あらゆる有用な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること。
3. 若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること。
4. 提唱ロータリークラブと協力して活動に当たる機会を提供すること。
5. ロータリーにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起すること。』

本年度はこの目的・目標を念頭に、改めて原点に立ち戻り1年間活動を行っていく。

現在、2760地区には9つのローターアクトクラブがあり、2014年度は121名の会員が活動しているが、2015年度には105名（新規入会なしの場合）にまで減少する見込みとなっており、会員の増強が急務である。中には会員数が一桁になるなど、大変深刻な状況に陥るクラブもいくつかあり、会員の増強が何より一番の課題となっている。

会員増強をローターアクトクラブだけの問題とせず、各提唱クラブにとっても重要な責務であることを認識していただき、アクターと積極的に関わりながら会員の増強に取り組んでいただけるよう働きかける。また、外部との交流や連携の機会を増やすことで相互理解を深めるとともに、ローターアクトクラブの認知度の向上にも努め、会員増強の大きな一助としていく。

過去の事例に捕われず、残すべきものは残し、変えるべきものは変えて行く姿勢で活動に臨むことで柔軟性や開拓心を養い、グローバルなアクトの特性を活かした国内外の研修や交流を充実させることで見聞を広め、次代の若きリーダーとしての資質を磨き、いきいきとした魅力あるクラブづくりへと繋げていく。

国際ロータリー第2760地区 2014～2015年度 地区ローターアクト

地区ローターアクト代表
坂上 卓史(名古屋熱田RAC)

『地区テーマ』 【価値ある存在へ】

ローターアクトは、18～30歳の青少年が地域社会への奉仕活動を通じて親睦を深め、次世代リーダーとして成長していく場です。それがアクトの価値の本質であり、それを維持向上させていくのがアクターの使命です。

アクト活動の基本は委員会活動による例会運営です。例会1つ1つの企画に真剣に向き合い、きっちりと運営する努力をして、結果としてクラブの社会的価値を向上させましょう。

アクトの会員数増減は、アクトの社会的価値（魅力）の増減に起因すると考えます。各クラブは、自クラブが地域社会にとってどれだけの価値のある存在かを念頭に置いて頂き、クラブの価値向上に努めてください。

アクトの親睦の輪を広げ、より一層楽しく、有意義なアクトライフを目指して、みんなで協力して足元をきっちりと固めて、着実にステップアップしていきましょう。

『地区方針』 【勢いのある地区】

1. 各クラブが会員状況につながる魅力的な例会運営を継続できる仕組みを作る。

アクション：地区事業

2. 地区行事の魅力を高めて出席率を向上させ、地区の一体感を皆で共有する

アクション：海外研修、及びその他の地区事業

『地区事業』 【賑やかビジター参加！】

例会の持続的なクオリティアップを促進し、クラブの価値の向上を目的とします。
地区から各クラブに、年間10回以上、他クラブの通常例会にビジターとして参加することを要請します。

ビジターは例会に参加した後、レポートを地区に提出して頂きます。そのレポートを全クラブで共有する形でフィードバックし、更なる例会のクオリティアップに繋げます。

地区から各クラブへの補助金、及び、地区事業への貢献に対する地区からの奨励を行うことで、本事業の活発化を促します。

ローターアクト・クラブ提唱の意義

ローターアクトは青少年のためのロータリー・プログラムに属する奉仕活動であり、ローターアクト・クラブというロータリー直営の組織を作り、ロータリーの奉仕の理想を志向する市民と指導者の育成を図るもので、ローターアクト・クラブは、提唱ロータリー・クラブの近隣地域内に居住、就職または通学している18歳から30歳までの青年男女で構成され、RIによって規定された標準ローターアクト・クラブ定款を採用し、提唱ロータリー・クラブの承認を得たクラブ細則を採択することが義務づけられています。したがって、ロータリー・クラブあってのアクトであり、RIは青年の自主性を尊重して、運営と資金調達を自力で行うことを奨励していますが、ローターアクト・クラブに関する最終責任は常にロータリー・クラブにあると言えましょう。特にその維持が重要課題です。

ローターアクト・クラブを提唱することにより、「各ロータリアンは青少年の模範」を如実に実行できるばかりでなく、青少年との相互理解が生まれ、またアクトを指導することによってロータリー・クラブが活性化する場合もあり、ロータリアンとアクターが共同奉仕を行うことには大きな意義があります。戦禍で目に傷を負ったイラク少年・モハマド君の救援に立ち上がった沼津ローターアクト・クラブの活動はそのよい例でしょう。ローターアクト・クラブの結成については、先ずロータリアンの職場で働く職業青年を集めることが一番容易で、これを中心に輪を広げるのが実際的であり、その場合は職業という点でローターアクターとロータリアンが共通の関心を持っているという利点があります。また、奉仕の精神ばかりでなく、ローターアクトの目標の第1に、「専門技術および指導能力の開発」が挙げられています。

こうした課題のためにも、アクトの例会や理事会にロータリアンの同席が求められ、彼らの自主的で意欲的なプロジェクトの実施に力を貸す必要があります。2013年現在で世界の160以上の国と地域に、6,584のローターアクト・クラブがあり、151,432人の会員が、「奉仕を通じての親睦」を標語として活動しています。次代を背負う青少年への奉仕こそ、ロータリアンに期待される最も大きな課題の1つであり、彼らを将来の立派なロータリアン候補として育て上げる心掛けも常に求められています。まだローターアクト・クラブを持たないクラブは、「ロータリアンは青少年の模範」という理念の下にその設立の可能性を検討し、各会員の青少年への関心を高めて青少年奉仕活動の幅を広げましょう。

ローターアクト・クラブに対するロータリー・クラブの役割

ローターアクト・クラブの結成は、ロータリーにおいて直接、育成への実践を手助けしている青少年活動の一つであり、そのうえローターアクト・クラブの会員は、職業を持っていると言う共通点がありますので、ロータリアンとの接触も比較的うまくいくものであります。

1. ローターアクト・クラブは、一つのロータリー・クラブ又は数クラブによって結成された後に国際ロータリーの証明と承認を得て設立されるものであることを承知し、責任をもって手続きを負わなければならない。
2. その他の方法では、創立することも維持することもできないことになっており・クラブの存続は、提唱ロータリー・クラブの不断の後援と、国際ロータリーが継続して承認を、与えるか否かにかかっていることを認識し、理解しなければならない。
3. 国際ロータリーが設定した機構のもとに、提唱ロータリー・クラブは、ローターアクト・クラブを結成したならば、その後の指導と助言を与える責任を持つことになっている。
4. ローターアクト・クラブは、次の条件のもとに2以上のロータリー・クラブが共同し、かつ提唱することができる。
 - (a) 地区ガバナーが、慎重に考慮した結果、地区と各関係ロータリー・クラブ並びにローターアクト・プログラムに対する最大の利益が共同提唱によりもたらされることを文書により表明し、承認を得ることができる。
 - (b) 標準ローターアクト・クラブ定款は、国際ロータリーによって規定されるものであり、かつ国際ロータリーの理事会のみが、これを改正できることになっている。
 - (c) クラブ結成並びに認証の必要条件として、各ローターアクト・クラブは、標準ローターアクト・クラブの定款を採択し、以後国際ロータリー理事会の採択する全改正条項を自動的に採用しなければならないこと。
 - (d) ローターアクト・クラブは、標準ローターアクト・クラブの定款および国際ロータリーが設定した方針に矛盾しない細則を採択しなければならない。その場合、この細則は提唱ロータリー・クラブの承認を得なければならない。

国際ロータリー第2760地区

歴代 地区ローターアクト委員長 地区ローターアクト代表

年度	所属RC	氏名	所属RAC	氏名
1968～69	名古屋	伊藤次郎左衛門		
1969～70	名古屋	近藤友右衛門		
1970～71	岡崎	内藤卯三郎		
1971～72	不明	不明		
1972～73	岡崎	服部 國男		
1973～74	岡崎	中西 正雄		
1974～75	岡崎	中西 正雄		
1975～76	岡崎	中西 正雄		
1976～77	岡崎	中西 正雄		
1977～78	岡崎	沢田富之助		
1978～79	岡崎	梅田 章次	岡崎	加藤 善啓
1979～80	岡崎	梅田 章次	田原	後藤田 等
1980～81	岡崎	梅田 章次	飯田	池田 正人
1981～82	岡崎	梅田 章次	名古屋港	簗田 守彦
1982～83	岡崎	梅田 章次	一宮	浅野 康久
1983～84	江南	真野 則光	松本	豊田 稔
1984～85	江南	真野 則光	江南	栗本 雅司
1985～86	江南	真野 則光	伊那	山崎 雅寛
1986～87	江南	真野 則光	長野	岩崎 佳人
1987～88	江南	真野 則光	名古屋熱田	坂本 文昭
1988～89	岡崎	中根比呂志	諏訪	宮坂 守
1989～90	岡崎	中根比呂志	岡崎	古賀 一弘
1990～91	豊橋	足立 守男	豊橋	河合 智史
1991～92	豊橋	足立 守男	小牧	五藤 丈二

年度	所属RC	氏名	所属RAC	氏名
1992～93	豊橋	野崎 洋二	田原	光部 浩司
1993～94	名古屋瑞穂	野崎 洋二	名古屋港	響尾 忠彦
1994～95	名古屋瑞穂	野崎 洋二	一宮	臼井 彰浩
1995～96	名古屋瑞穂	野崎 洋二	江南	吉田 高延
1996～97	一宮中央	石川 敬	東海	神谷 徳昭
1997～98	一宮中央	石川 敬	名古屋熱田	江村 公一
1998～99	一宮中央	石川 敬	岡崎	石田 雄三
1999～00	豊橋	青木 公貞	名古屋名城	樋口慎一郎
2000～01	豊橋	青木 公貞	豊橋	佐々木義宣
2001～02	名古屋瑞穂	近藤 雄亮	田原	鈴木 善一
2002～03	一宮中央	加藤 康治	一宮	江崎 正和
2003～04	一宮中央	加藤 康治	名古屋港	田中 孝一
2004～05	江南	高木 博	江南	土田 和美
2005～06	名古屋瑞穂	遠山 堯郎	名古屋熱田	江村 陽子
2006～07	岡崎	服部 良男	岡崎	内田 将美
2007～08	名古屋和合	坪井 和義	名古屋名城	藤 喬史
2008～09	田原	富田 雅則	豊橋	村井裕一郎
2009～10	田原	富田 雅則	田原	河合 真樹
2010～11	名古屋瑞穂	高須 洋志	一宮	猪子 知里
2011～12	豊田	秋田 敬治	豊田広域	山下 裕
2012～13	名古屋みなど	寺本 善雄	名古屋みなど	鏡味 純弥
2013～14	名古屋みなど	寺本 善雄	江南	河合あゆみ
2014～15	名古屋南	西本 一幸	名古屋熱田	坂上 卓史

地区ローターアクト主要活動一覧表

年度・所属クラブ	地区代表氏名	備考
2006~07 岡崎RAC	内田 将 美	地区テーマ／「わ」 地区方針／「わを大きく広げよう」 地区事業／地域との関わりを大事にしよう! 第17回年次大会／5月12日(土)・13日(日) 国内研修／静岡県浜松市(浜松原発等) 海外研修／台湾
2007~08 名古屋名城RAC	藤 喬 史	地区テーマ／絶対挨拶 地区方針／自分から行動しよう 地区事業／子供の虐待防止ネットワークへの参加 第18回年次大会／5月10日(土)・11日(日) 国内研修／三重県鈴鹿市(鈴鹿サーキット) 海外研修／シンガポール
2008~09 豊橋RAC	村井 裕一郎	地区テーマ／アクトにかえろう 地区方針／日常の中で出来る奉仕を見つけます 地区事業／個人の日常での発見をアクト活動に反映できる体制作り 第19回年次大会／5月23日(土)～24日(日) 豊橋創造大学 記念講演：中部大学・磯部久美子氏・アクトの活動発表 国内研修／第2590地区(横浜・川崎) 現地アクターとの合同研修・ 清掃活動・横浜周辺見学 海外研修／韓国3月27日(金)～3月29日(日) 現地アクターとの交流 38度線見学による平和学習
2009~10 田原RAC	河合 真樹	地区テーマ／成長 地区方針／アクトを楽しもう 地区事業／全国RA研修会への参加、ボリオ撲滅運動への参加 第20回年次大会／5月22日(土)・23日(日) 国内研修／兵庫(第2600地区・第2630地区と合同で開催、 第2680地区と交流) 第22回全国RA研修会／3月13日(土)・14日(日)
2010~11 一宮RAC	猪子 知里	地区テーマ／アクター2760(になろう) 地区方針／感謝をもって 地区事業／カンボジアの学校建設プロジェクトへの協力 第21回年次大会／5月14日(土)・15日(日) 国内研修／京都10月2日(土)・3(日) 「温故知新」第2650地区アクターとの交流 海外研修／カンボジア1月27日(金)～30日(日)
2011~12 豊田広域RAC	山下 裕	地区テーマ／挑戦 地区方針／継続力 地区事業／介助犬育成・普及活動への参加 カンボジアの教育普及への協力 第22回年次大会／5月19日(土)・20日(日) 国内研修／第2610地区(石川・富山) アクターとの交流 テーマ「知・交・楽」 海外研修／タイ・バンコク2月9日(木)～12日(日)
2012~13 名古屋みなどRAC	鏡味 純弥	地区テーマ／誉 地区方針／大海を知る 地区事業／STOP HIV運動 第23回年次大会／5月18日(土)・19日(日) 国内研修／第2620地区(静岡・山梨) アクターとの交流 テーマ「懸け橋」 海外研修／台湾3月30日(土)～31日(日)
2013~14 江南RAC	河合 あゆみ	地区テーマ／きらきら 地区方針／きらきらアクトライフ 地区事業／きらきらを広げよう・東日本大震災復興支援 第24回年次大会／5月17日(土)・18日(日) 国内研修／第2660地区(大阪北部) アクターとの交流 テーマ「STEP」 海外研修／韓国11月16日(土)～17日(日)
2014~15 名古屋熱田RAC	坂上 卓史	地区テーマ／価値ある存在へ 地区方針／勢いある地区へ 地区事業／賑やかシビジター参加!

地区ローターアクト運営ローテーション表

年度	地区運営	指導者研修会	アクターズミーティング	地区親睦	備考
1995~96	江南		豊橋	田原	
1996~97	東海		田原	名古屋名城	
1997~98	名古屋熱田		一宮	岡崎	
1998~99	岡崎		名古屋港	豊橋	東海RAC解散
1999~00	名古屋名城	豊橋	江南	一宮	
2000~01	豊橋	田原	名古屋熱田	名古屋港	
2001~02	田原	一宮	小牧	江南	
2002~03	一宮	名古屋港	名古屋名城	名古屋熱田	
2003~04	名古屋港	江南	岡崎	小牧	
2004~05	江南	名古屋熱田	豊橋	名古屋名城	小牧RAC解散
2005~06	名古屋熱田	岡崎	田原	岡崎	
2006~07	岡崎	名古屋名城	一宮	豊橋	豊田広域RAC設立
2007~08	名古屋名城	豊橋	名古屋港	田原	
2008~09	豊橋	田原	江南	一宮	
2009~10	田原	地区RA協議会	国内研修	豊田広域	
		一宮	地区		
2010~11	一宮	豊田広域	岡崎	名古屋みなと	
2011~12	豊田広域	名古屋みなと	名古屋名城	江南	
2012~13	名古屋みなと	江南	豊橋	名古屋熱田	
2013~14	江南	名古屋熱田	田原	岡崎	
2014~15	名古屋熱田	岡崎	一宮	名古屋名城	
2015~16	岡崎	名古屋名城	豊田広域	豊橋	
2016~17	名古屋名城	豊橋	名古屋中央	田原	
2017~18	豊橋	田原	江南	一宮	
2018~19	田原	一宮	名古屋熱田	豊田広域	

※1999~2000年度より「部門別協議会」の名称を「アクターズミーティング」に変更

※2011~2012年度(豊田広域)にローテーション見直し。(2008年10月5日 第三回RA会長幹事会にて)

※2013年度より「名古屋みなと」の名称を「名古屋中央」に変更

国際ロータリー第2760地区 ローターアクト・クラブ (RAC) 一覧

会員数は2014年2月1日現在

ローター アクトクラブ	提唱・協力RC (太字・主管RC)	創立年月日	会員数			事務所所在地
			2012	2013	2014	
岡崎	①岡崎・②岡崎南 ③岡崎東・④岡崎城南	1969.9.19	13	10	18	〒444 岡崎市竜美南1丁目2番地 岡崎商工会議所 5階 -8611 岡崎ロータリークラブ内 0564-55-0077
豊橋	豊橋(協力RC注1)	1975.3.6	9	8	8	〒440 豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所 6階 -0075 豊橋ロータリークラブ内 0532-56-6006
田原	田原(協力RC注2)	1975.5.30	14	16	16	〒441 田原市田原町巴江12-1 華山会館 3階 -3421 田原ロータリークラブ内 0531-23-1216
一宮	①一宮中央・②一宮 ③一宮北・④尾西	1975.6.5	13	15	12	〒491 一宮市栄4-2-1 一宮商工会議所 -8686 一宮中央ロータリークラブ内 0586-24-1959
名古屋中央	①名古屋みなと(協力RC注3) ②名古屋丸の内	1975.2.6	11	10	12	〒450 名古屋市中村区名駅1-1-4 名古屋マリオットアソシアホテル2222号 -6002 名古屋みなとロータリークラブ内 052-586-2955
江南	江南	1979.1.18	6	9	9	〒483 江南市古知野町小金112 -8205 江南ロータリークラブ内 0587-55-6554
名古屋熱田	①名古屋南・②名古屋東南 ③名古屋瑞穂・④名古屋名南	1984.3.15	20	21	24	〒460 名古屋市中区栄1-19-30 名古屋観光ホテル -8608 名古屋南ロータリークラブ内 052-221-6533
名古屋名城	☆1 名古屋千種(提唱RC)	1995.6.30	14	20	16	〒460 名古屋市中区栄4-6-5 丸越ビル6階 -0008 名古屋名北ロータリークラブ内 052-262-7580
豊田広域	豊田・豊田東(協力RC注4) 豊田三好・豊田中	2007.6.24	12	10	6	〒471 豊田市小坂本町1-4-12 梅村ビル1階 -0034 豊田ロータリークラブ内 0565-32-5555
9RAC	40RC	会員合計	112	119	121	

☆1 名古屋名城ローターアクト・クラブの主管は名古屋北、名古屋東、名古屋守山、名古屋和合、名古屋名東、名古屋名北、名古屋千種、名古屋昭和、名古屋錦、名古屋東山、名古屋葵の順となる。2013年度は、主管が名古屋千種、副主管が名古屋昭和、2014年度は、主管が名古屋昭和、副主管が名古屋錦という順にて主たる運営をする。

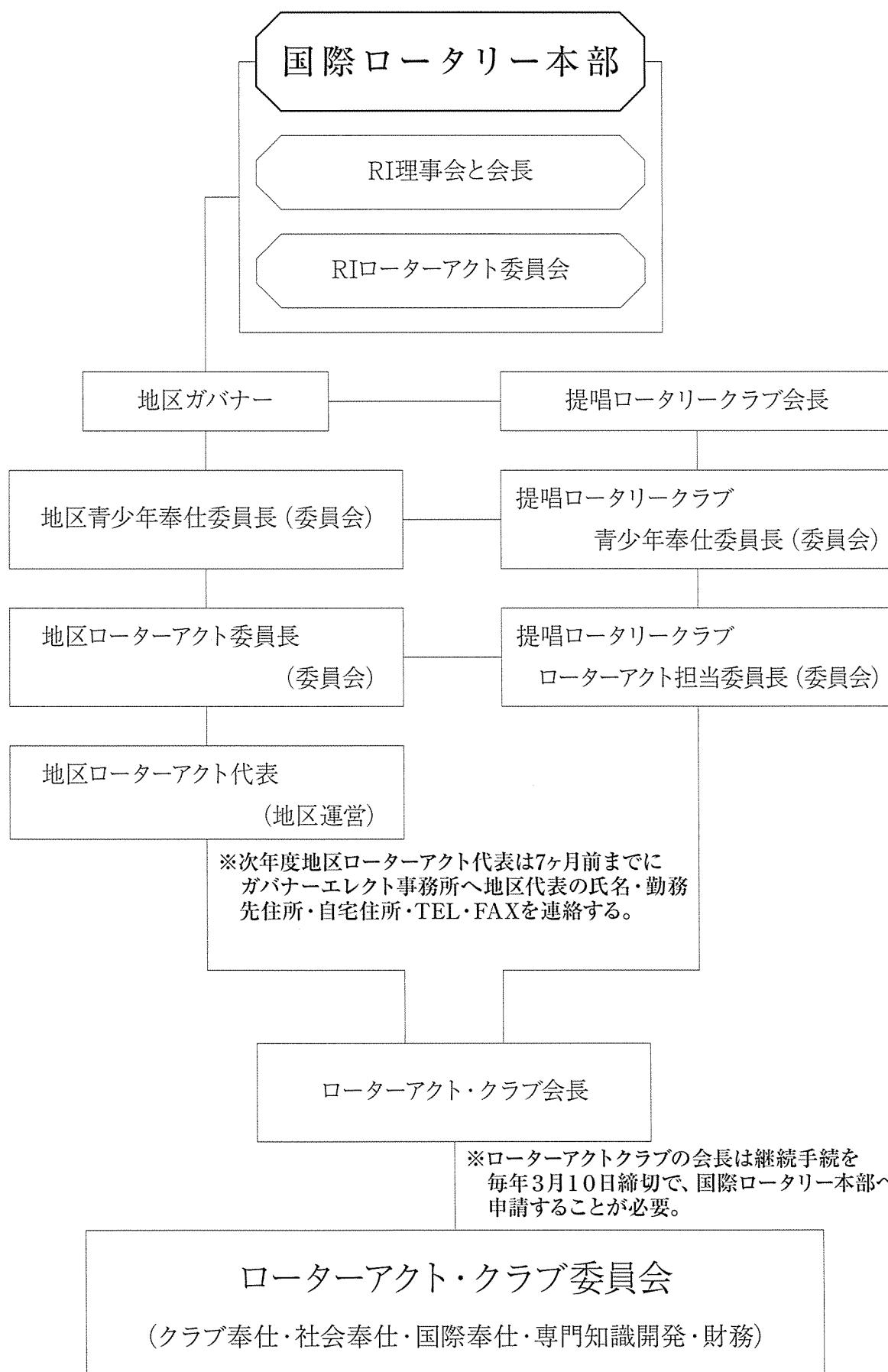
協力RC(注1) 豊橋北、豊橋南、豊橋ゴールデン、豊橋東

協力RC(注2) 田原パシフィック

協力RC(注3) 名古屋西

協力RC(注4) 豊田西

〈国際ロータリー第2760地区 ローターアクト組織図〉



地区 R Y L A 委員会・活動方針

RI第2760地区
2014~2015年度
地区RYLA委員会
委員長 谷山 芳和 (豊田西RC)

RYLAとは

Rotary Youth Leadership Awards (ロータリー青少年指導者養成プログラム) の頭文字をとった略称。

1959年、オーストラリア、クイーンランド州の自治権獲得百周年記念委員会にイングランドのアレクサンドリア王女が臨席されたので、王女と同世代の青年たちを招き、語らいの場所を作ろうという計画が持ち上がり、このホストをブリスベンロータリークラブが勤めました。この時の青年たちの素晴らしい姿を継続できないものかと考え、これを青少年育成の場にしようとしたのが始まりといわれています。

国際ロータリーでは、1971年に地域社会の指導者として、また善良な市民としての資質を伸ばすことを目的に、青少年指導者育成プログラムとして位置づけ、1976年には日本でも始められました。

また、愛知県では1993年岡崎市で第1回が開催され、以降毎年開催され今回23回目となります。RYLAの大きな特徴は、ロータリーファミリーを含めロータリーに関係のないところからも青少年を集め、ロータリークラブ会員が共に過ごし、指導力の養成とともに奉仕の精神を伝え、友愛を深めるところにあります。

活動方針

当委員会は、年齢14歳~30歳までの青少年を対象として、指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的とした活動を推進します。

事業内容として、青少年が、自分自身と社会・世界について新しい発見をすることができ、ロータリアンを模範として、倫理、奉仕、親睦の理念について学べるような機会を提供します。

1. 地区RYLAセミナー（ロータリー青少年指導者養成プログラム）

地区ガバナー主管で、地区RYLA委員会の主催により常滑ロータリークラブをホストクラブとして、2015年3月21日（土）～22日（日）の二日間にわたり、美浜 少年自然の家において、第23回地区RYLAセミナーを開催します。本プログラムの達成目標は下記の通りです。

- (1) ロータリーが青少年を尊重し、かつ、青少年に关心を抱いていることを明らかにすること。
- (2) 選考した青少年指導者に実施訓練を体験させ、責任ある有能なボランティア青少年指導者となる方法を身につけるよう激励、援助すること。
- (3) 青少年による青少年への継続的な力強い指導を奨励すること。
- (4) 青少年指導者として地域社会に尽くしている多数の青少年の優れた資質を公にすること。

2. 国際 R Y L A 派遣

地区RYLAセミナー受講修了生の中から（18歳以上～30歳まで）国際的な視野に裏付けられたリーダーシップを身に付けようとする意欲のある若者を選考し、国際RYLAに派遣します。

派遣事業の実行においては、広く希望者を募るとともに、選考における公平の確保と国際RYLA開催期間中の派遣生の安全に特段の配慮をするものとします。

国際RYLA開催予定場所はオーストラリア・シドニーの予定、派遣生予定数は2名程度です。

RYLAについて

一口にRYLA（Rotary Youth Leadership Awards）と言われても中々聞きなれない言葉として扱われており、その意味をしっかりと理解されていない方が非常に多くあるように思います。

RYLAの意義

これは、青少年の指導者養成プログラム計画に基づき、各クラブから、推薦された青少年男女の皆さんの参加を要請し、当地区では毎年1回の割合でセミナーの方法を採用して、実施を致しているものであります。

勿論このロータリーの青少年活動の中で、これから時代を担う若い人達に指導者としての資質を伸ばす場を与える、特別な目的をもったプログラムであると言うことありますが、これに参加する皆さんのが、この機会に親睦と友情を深めるための貴重なセミナーであることは申し上げるまでもございません。

RYLAセミナーとは

- (1) 若い人々とロータリークラブ会員が共に時間を過ごし、指導力、奉仕の精神を伝え、友愛を深めることに特色を持つ地区プロジェクトであり、
- (2) 若い人々の指導力と善良な市民精神と言う資質を伸ばすことを目的とし、選ばれた指導者の資質を持つものに訓練と経験を積ませ、その資質の発展と向上を奨励し、援助するために開催されるもので、
- (3) 参加者が自分たちの地域社会に奉仕するための関連した技術、知識、あるいは、人間関係等を限られた時間内に学ぶものです。

RYLAプログラムの計画

- (1) セミナー…教育と社交の釣合いのとれたプログラムを提供することになっております。

先ず、その手初めとして、

- (A) ロータリーの奉仕の精神を理解していただくことになりますが、ロータリーでは、社会生活における成功と幸福をえるためには、他人に対する思いやりと他人を助けることにあるとしたうえで、各自の職業を通じ奉仕を実践することを目的としているものでありますて、その奉仕の理想追求に当たっては（綱領を実行に移すこと）
 - (1) 広く知り合いを求めて奉仕の機会を、できるだけ多く持つこと。
 - (2) 各自の職業（職務）の誇りをもって、その道徳的基準を高めること。
 - (3) 公私の別なく、奉仕の理想を実行すること。
 - (4) 理解と友情を国際的に広めること。

と言う4つの道を掲げております。

- (B) さらに自分自身の行動が、次の四つのテストに照らして、決められることになります。

- (1) 真実かどうか（うそ、いつわりはないかを確かめる）
- (2) みんなに公平か（不公平部分はないかを確かめる）
- (3) 好意と友情を深めるか（欠けていないかえお確かめる）
- (4) みんなのためになるかどうか（多くの人のために役立っているか確かめる）

こうした行動が、人のため世のために奉仕することにもなり、それによって得る利益と楽しさを表すことにもなるのであると言うことであります。

- (C) ロータリーの青少年活動のうち、このRYLA活動のほか、インターラクトクラブとロータリアクトクラブの組織が地域管轄のロータリークラブが提唱して結成され、ロータリークラブの助言と指導による後援のもとに活動の展開が図られています。
このうち、とくにロータリアクトクラブは18歳～30歳までの社会人の集まりで組織されておりますので、このRYLA活動の中で、新たな地域にR.A.C.の結成あるいは、既存クラブの会員増強のために役立つ働きを起こして頂けることも充分考えられ、期待できると言うこともあります。

(D) その他、このI.A.C、R.A.Cが地域の事情（自分の地域内に高校や一般企業が無いか、あるいは少ない場合）において、結成が不可能であると思える地域については、今回ご参加頂いております指導者の皆さんと、主となり、その地域又は地元の青少年活動社会奉仕活動の組織等について討論し、ロータリープログラムについての知識を深めることにより多くの指導者との知り合いも広がり、そのほか有能な社会奉仕団体について学ぶこともできるのであります。

[但、I.A.Cの場合は学校単位とする高校生のほか、これとは別に地域I.A.Cの結成もできることをご承知願います。]

(E) すべてのRYLAプログラムは青少年指導者に、自信と優れた指導力を身に付けることができると同時に、自分を推薦した地域社会に、熱意と指導力を持ち帰って、そのうえに自分の活動範囲内にいる若い人達に影響力や刺激をもたらすことにもなるのであります。
とくに地区内では、このRYLAプログラムを成功させるための役立つ指針として、次の目標を掲げております。

1. ロータリーが青少年を尊重し、かつ青少年に关心を抱いていることを一層明らかにすること。
2. 選考した青少年指導者およびその素質のある人に実施訓練を体験させ、責任ある効果的な自発性に富む指導方法を身につけるよう激励し、援助することにあります。
3. 青少年による青少年への絶えざる、力強い指導を奨励する。
4. 青少年指導者として、地域社会に尽くしている多数の青少年の優れた資質を公に表彰することなどの点が奨励されており、地区がその目標を達成できると言う、自信が保たれるまで、熟慮を重ねなければならないということになっているのでございます。

(F) プログラムの議題とテーマについては

1. 本会議での講演
2. 小グループ別討論
3. 視聴覚プログラムの上映
4. 事例分析
5. 研究会・役割演技等

の議題が考えますがプログラム全体を通して出来るだけ高度の关心を得るもので選考する必要があること。

更に全始動の時間割に柔軟性をもたせるため、プログラム日程には次のようなテーマが含まれる。

1. 指導力の基礎（公開演説・会議の司会等）
2. グループ始動（地域社会の責務・青少年の役割等）
3. 対人関係（奉仕の機会・指導倫理等）

その他（具体的事例の検討）として

1. 非行化と薬物乱用防止（いじめ対策・エイズ対策）
2. 高齢化社会への対応（施設の慰問・介護・職業斡旋）
3. 環境保全の貢献問題（地域社会と一般社会）
4. 社会における女性関係（女性の職業と地位等）
5. I.A.C、R.A.Cの結成問題（クラブ拡大と会員増強援助等）
6. その他（自他の理解・RYLAの評価等）

基本的には、以上が代表的議題（テーマ）の一覧ですが、できれば地区RYLA委員会が元参加者と協議し、何が最も关心を引くことになるかとか、又やりがいのある議題であったかを確認し、今後の参加者がプログラムの議題に关心を抱くよう、配慮が必要なことがあります。

(2) 指導者キャンプ…参加者が指導力を得る機会と場所に恵まれ、自己の指導技術を磨くことでの
きる環境でプログラムを実施することになっております。

例えば

- (A) 交通の便が良くて、ある程度一般の人が自由に入りきれない場所を選ぶようにすること。
その他

1. 休暇中利用できる学校もしくは大学の寮
2. 講演者に不便でない場所
3. 田園地帯のキャンプ場
4. 都会から離れている利用できる場所

(B) 男女参加者およびプログラムのスタッフが宿泊できる十分な設備のあること。

(C) グループ研究の場所がとれること。

(D) 屋内と屋外のレクリエーション活動の設備があるところ。

会議は通常1週間で（当地区では現在のところ2日間）参加者の指導力強化養成をいたします
が、RYLAセミナープログラムは14歳～30歳です。09年から14～18.19～24.25～30歳で異なる
手法を望んでいます。14歳～18歳は成人になる過程、19歳～30歳は職業志向がかなり強くなる
と言う大きな違いがあります。また、国際ロータリーは、RYLAセミナーにI.A、R.Aも参
加させるよう奨励しています。

(3) RYLAへの参加者選考…本来RYLAはロータリーの青少年指導者養成プログラムとして計画さ
れるものであり、ローターアクトの会員増強と拡大に効果的援助を与
える地区プロジェクトであります関係上、

1. できる限り学校（IACのない）、教会、地域青少年グループ、アスレチッククラブ、文化団体等を通し、若い人達に広くプログラムを公表し申請するよう求めること。（締切日公表）
2. ときにはIACやRAC会員をRYLAに参加させることもありますが、これは各クラブの新役員を訓練するために利用する場合が多いようです。
3. 選考基準は地区委員会がこれを定め、次の基本的資格を備えるよう推奨されています。
 - A.青少年グループへの積極的参加、青少年指導者として行った奉仕のいずれか、あるいは両方を判断したうえで、指導者としての経験または素質があること。
 - B.品行方正であること。
 - C.協調的で、グループの一員となることをいとわないこと。
 - D.時事問題をよく知っていること。
 - E.自己の意見を述べ、人前で話す能力をもっていること。
 - F.学校および諸活動で優秀であること。

国際ロータリー第2760地区

地区RYLA委員会の指導要綱

地区RYLA委員会・ガイドライン

1. 地区RYLA委員会は、地区青少年委員会の関連小委員会の位置にあり、地区内8分区より選出された地区委員で構成されることを基本とする。
委員には2名はホストクラブより1名翌年のホストクラブより1名が基本で構成せることを推奨する。
2. 地区RYLA委員会は、委員会単独で、年間数回のロータリー青少年指導者養成セミナーについての研究会を開催することが奨励される。
3. 地区RYLA委員会は、ガバナー・ガバナーエレクトに当該年度のRYLAセミナーの「セミナーテーマ」と開催日の決定を要請する。
4. 地区RYLA委員会は、決定された「テーマ」と開催日を、ホストクラブに通知する。
5. ホストクラブより提供された、会場使用料等の資料をもとに地区RYLA委員会とホストクラブで協議し、速やかに年度当該の登録料を決定し、当該年度ガバナーに報告し、ホストクラブに当該年度登録料の正式通知をする。
6. 地区RYLA委員会は、提示された「テーマ」について協議し、その「テーマ」の中で、青少年指導者養成セミナーのRI奨励事項・要請事項を、組み入れたプログラムの作成を検討し選定を行う。
7. プログラムの推進、実行は地区RYLA委員（ホストクラブ会員の協力を求め）が行う。
8. プログラムの推進、実行過程で、地区委員の欠員が生じると判断した時は、地区青少年委員会等の地区委員に協力要請は可能である。
9. プログラム決定後は常にホストクラブとの連帯を密とする事につとめる。
10. 地区RYLA委員会は、委員会本来の責務を自覚し（RI指針、奨励、要請事項）セミナー自体へ、腰の据わった指導性を示すべきである。
11. 地区RYLA委員会よりの、ホストクラブ委託事項は別途ホストクラブ指針で記載されるが常に柔軟的に選択肢を思考し、協調と相互理解を求めながら、ロータリアンとして、相互が最善のセミナーを行う為に尽力すべきである。

「RIは09年度よりRYLAセミナー対象年齢構成を14歳～18歳・19歳～24歳・25歳～30歳に年齢構成とし加えてIA・RAを是非参加させることが望ましい」との奨励事項

国際ロータリー第2760地区 RYLA委員会

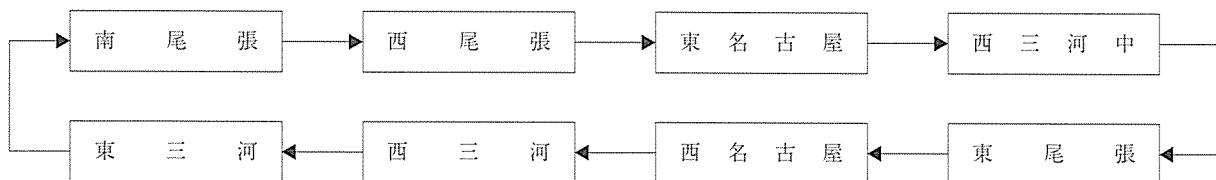
RYLAセミナーに関する指導要綱

RYLAセミナーホストクラブ・ガイドライン

1. RYLAセミナーは、主管を地区ガバナーとし、主催者をRYLA委員会とし、ホストクラブにRYLAセミナーの諸事の指導を行う。
2. RYLAセミナーホストクラブはガバナー・ガバナーエレクトのホスト委嘱状が送付された時点
で当該年度RYLAセミナーのホストクラブとなる。
3. ホストクラブは、委嘱状受領後、実行委員会等の対応委員会を設立することが奨励される。
4. ホストクラブは、地区RYLA委員会より当該年度ガバナーの「セミナーテーマ」の通知を受け
たら、速やかに、使用会場施設の選定を行ない、その施設の概要案内、使用料等の資料を主管者
及び地区RYLA委員会に送付する。
5. ホストクラブは、地区RYLA委員会に予定会場施設の概要案内、使用料等の参考資料を送付し
たら、当該年度の登録料決定のため、地区RYLA委員会とホストクラブの合同協議会を開催し
て登録料を決定する。（地区RYLA委員会は、登録料決定を当該年度ガバナーに報告、了承を
得て正式登録料額となる）
6. ホストクラブの主たる任務、責務は下記の条項の示すものである。
 - 1項 セミナー使用会場施設確保、会場の設営、運営、管理、安全対策、緊急事態対応、道路誘
導等。
 - 2項 セミナー受講者募集、登録、集計集金、宿泊場提供、飲食の提供、RYLAセミナー時のガ
バナー顕彰・顕彰者応対等。
 - 3項 1項、2項、に付随し、かつ快適で健全なセミナーを開催するため、ロータリアンの奉仕の精
神に基づいた必要とされる全ての事柄。
 - 4項 地区RYLA委員会の指導のもと作成する、セミナープログラムの推進、実行への全面協力
が重要な事柄となる。
 - 5項 セミナープログラム作成には、ホストクラブ担当者等が適時参加をし、セミナー推進の経緯
を把握し、会場設営の参考とすべきである。
 - 6項 ホストクラブ・地区RYLA委員会合同会議は、ホストクラブが会議、会場の設営主催者と
なり、出来る限り多くの、ホストクラブ会員の参加が望ましい。
 - 7項 ホストクラブが召集する諸事の召集状、案内状の名義筆頭はガバナー名であり、次に地区新
世代委員長、地区RYLA委員長、次にクラブ会長、実行委員長となる。
 - 8項 ホストクラブ・地区RYLA委員会は常に相互に連絡、報告、を密にし、充分、合同委員会
を開催し意志の疎通を図る事が重要である。
 - 9項 ホストクラブは、セミナー事業終了後、決算報告書を60日以内に地区RYLA委員会に提出
する義務を負う。
 - 10項 年度内の顕彰の資格を得る。（6月に行なわれる地区役員、会長・幹事会でガバナーより）

国際ロータリー第2760地区 ガバナー主管・RYLAセミナーの開催経緯と計画

RYLAセミナーは1992-1993年度より開催され、2013-2014年度開催で22回目となります。RYLAセミナーの場所とホストクラブをどここのクラブが引き受けるか?という問題が生じます。ガバナーの主管でありますので地区行事となり、ホストクラブは各分区毎の輪番制にて各分区にてご検討をいただきご選出をお願いいたします。



開催歴

	開催年度	開催日	ホストクラブ	テーマ
第1回	1992-1993	1993/3/14	岡崎東	歴史に学ぶ
第2回	1993-1994	1994/3/19・20	春日井	21世紀にはばたけ…青少年
第3回	1994-1995	1995/3/18・19	東知多	友達になろう
第4回	1995-1996	1996/3/16・17	名古屋大須	自然に学ぼう
第5回	1996-1997	1997/3/15・16	刈谷	救え・地球を
第6回	1997-1998	1998/4/4・5	豊橋ゴールデン	新世代と国際交流
第7回	1998-1999	1999/3/13・14	尾西	今、子供たちが危ない
第8回	1999-2000	2000/3/25・26	名古屋千種	地域社会とわたし
第9回	2000-2001	2001/3/17・18	豊田西	21世紀はあなたが主役
第10回	2001-2002	2002/3/23・24	尾張旭	ネット社会の中の私たち
第11回	2002-2003	2003/5/17・18	名古屋瑞穂	怖いおやじと優しいお母さん
第12回	2003-2004	2004/5/15・16	知立	青春の声を聞かせましょう
第13回	2004-2005	2004/11/27・28	豊川	見つめなおそうマナーと言葉
第14回	2005-2006	2006/3/25・26	知多	夢
第15回	2006-2007	2007/3/24・25	尾張中央	将来の日本
第16回	2007-2008	2008/2/23・24	名古屋東山	自立「守・離・破」
第17回	2008-2009	2008/11/8・9	岡崎城南	絆
第18回	2009-2010	2009/11/14・15	小牧	礼節
第19回	2010-2011	2011/2/26・27	名古屋中	夢をかたちに
第20回	2011-2012	2012/2/25・26	三河安城	幸運は天から降ってこない
第21回	2012-2013	2013/2/23・24	田原	平和
第22回	2013-2014	2014/3/22・23	常滑	輝いて生きよう
第23回	2014-2015		西尾張分区	
第24回	2015-2016		東名古屋分区	
第25回	2016-2017		西三河中分区	

地区ガバナー主管・国際RYLA派遣生募集要項

国際RYLAが提供するものとは

- ・世界中から18歳～30歳の青少年が参加し自己に対する自信を身につけます。
- ・様々な国から集まった青少年と様々な問題にさらされ国際感覚を身につけます。
- ・世界のそれぞれの分野で活躍する地域社会の指導者や顧問と知り合います。
- ・自己の指導力が開発できます。

参加資格

- ・2014年3月末までに第2760地区で開催されますRYLAセミナーを修了した方に限ります。
- ・年齢が国際R Y L A開催日時点で18歳～30歳（満年齢）までの人。
- ・国際RYLAは例年6月の国際ロータリー年次大会前数日間で開催されます、国際ロータリー年次大会に必ず出席しなくてはなりません。
- ・国際RYLAはすべて英語で開催されます。（通訳システムはありません）
- ・派遣希望者は第2760地区内のロータリークラブの推薦が必要です。
- ・応募者はお近くのロータリークラブ事務所で地区RYLA委員会提出用紙入手し必要事項を記入して推薦ロータリークラブに提出してください。記入時、本人の同意書が必要になります。（未成年者の場合は保護者、所属校長の同意書が必要になります。）
- ・地区R Y L A委員会の選考委員会の審査があります。
- ・審査合格者になるとオリエンテーションを受ける義務が課せられます。
- ・国際RYLA派遣予定者になると旅行保険に自己負担にて加入していただきます。
(旅費は国際ロータリー第2760地区が負担します)

受付開始：2014年3月23日(日)地区RYLAセミナー終了後から
例年10月末日をもって締め切ります

開催予定国：未定

募集人員数：2名程度

派遣条件：2014年3月末までに第2760地区ガバナー主管で開催されましたRYLAセミナー修了者で受講希望申込をされた受講生より選出されます
＊別途年度初めに各クラブに派遣生募集案内を送付いたします。

申請先：地区RYLA委員会

申込先：地区内各ロータリークラブ

Rainbow corps (RYLA学友会) 会則

第一条 名称

レインボーコー (RYLA学友会) とする。(Rainbow corps ロータリーの輝く団体 RYLArianの団体)

第二条 目的

- 1.会員は会員相互並びにロータリアンとの交流、親睦を深め友情を大切にして専門技術を養い、自らの指導力・行動力を開発する。
- 2.奉仕の精神を養い、地域社会のリーダーとして日々努力を重ねる。
- 3.国際ロータリー第2760地区、地区RYLA委員会の行う事業等に参加し協力する。

第三条 提唱者

国際ロータリー第2760地区、地区RYLA委員会が、委員会活動の一環として提唱する。

第四条 会員資格

- 1.国際ロータリー第2760地区、地区RYLAセミナー受講修了者（ライラリアンと呼ぶ）で入会を希望する者で、入会申し込みを行った者及び国際RYLA派遣生・ローターアクト卒業生を含む。
(国際RYLA派遣生については3年間以上は会に在籍協力していただきたい。)
(申込みは所定の用紙に記入する。※メールアドレスを登録)
- 2.年齢
年齢18歳以上（大学入学以上）で40歳未満
但し18歳～20歳未満につきましては保護者の承諾が必要になります。
- 3.退会は本人の意思により、その旨を会長に通知する。但し、年度内の中途退会はレインボーコー・RYLA委員会において協議する。
- 4.諸事情により休会を認める。その旨を会長に通知する。

第五条 年度

毎年7月1日から翌年6月30日を年度とし1期と呼ぶ。

第六条 会合

- 1.月1回の定例会合の方式は電子メール、インターネットによる「ネット会議」も積極的に取り入れる。
- 2.役員会は、地区RYLA委員会の開催日に合同で行うことが出来る。
- 3.総会は、年一回開催する。原則、RYLAセミナー開催日に開催する。
- 4.会合は事前に通知する。
- 5.必要に応じ、臨時会合を適時行うことができる。

会合出席者は地区RYLA委員会・レインボーコー役員及び会員を含みます。

第七条 役員

- 1.役員は会長1名、副会長1名、幹事1名、副幹事1名、相談役若干名とする。
- 2.相談役は地区RYLA委員会の委員長・担当委員がその任に当たる。

第八条 役員会

役員会は、必要に応じ開催し、年一回以上は地区RYLA委員会と合同で開催する。

役員会の開催はインターネットによる「ネット会議」行うこともできる。

役員会とは会長・幹事・相談役を以て役員会とする。

役員会定足数は2分の1の出席者をもって役員会が成立する。

第九条 役員の選出

1. 役員の選出は前年度役員の会合において推薦する。

推薦委員会は総会日前30日以内に開催する。推薦委員は役員会があたる。

2. 立候補者は1の会合にその旨を通知する。

3. 国際ロータリー第2760地区内のロータリークラブが役員を推薦する場合は、1の会合にその旨を通知する。

4. 役員は総会で承認を得る。相談役は総会で委嘱する。

第十条 役員の任期及び相談役の任期

1. 役員の任期は2期2年とする。但し、留任は妨げない。

2. 相談役の任期は定めない。

第十二条 入会金・年会費（運営資金）

入会金・年会費等の運営資金は、地区RYLA委員会が管理する。

但し、別途運営資金の徴集の必要性が生じた場合は、地区RYLA委員会が協議し施策に当たる。

第十三条 事務局

レインボーコーの事務局は、地区RYLA委員長所属クラブ事務局に置く。

第十四条 総会

会員総数の3分の1をもって本クラブの総会定足数とし議事は別に定める場合を除き、出席会員の過半数の賛成をもって決定する。

第十五条 会則の変更

会則の変更は役員会に於いて協議後、地区RYLA委員会の協議をもって決定する。

入会申込書

私はレインボーコー（RYLA学友会）に入会を申し込みます。

平成 年 月 日

フ リ ガ ナ
氏 名

印

署名

生年月日 年 月 日 (西暦で記入下さい)

郵便番号 —

住 所



電話番号 () — (自宅)

携帯番号

職 業 (勤務先名)

メールアドレス

推薦ロータリークラブ名



推薦ロータリークラブ会長or幹事 署名

尚、未成年の方は保護者に会則を熟読いただき、ご相談のうえご入会いただきたくお願い申し上げます。

保護者の皆様にはロータリークラブが行う青少年の健全育成奉仕活動にご理解を頂きたくお願い申し上げると共に恐縮ではありますが書名捺印をお願い致します。

保 護 者 名 捺印

保護者住所

地区青少年交換委員会・活動方針

RI第2760地区
2014～2015年度
地区青少年交換委員会
委員長 岡田 雅隆（犬山RC）

青少年交換事業とは、1929年米国とデンマーク・コペンハーゲンのロータリアンの子供たちの交換留学に始まり、姉妹（友好）提携クラブ対クラブの交換から、地区対地区的現在の形になってきている事業です。現在この青少年交換事業で150カ国以上、約8000名の交換留学が毎年行なわれ、日本においても50カ国以上、350名程の学生が、世界各国に留学しています。

ロータリーの綱領第4条に「奉仕の理念に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親睦と平和を推進すること」と掲げられており、青少年を奉仕と親睦の道に導き教育するという青少年交換プログラムの目標は、国際親善と世界理解を推進し国際ロータリーの使命を体現する事業です。

世界各国のロータリアンは、青少年交換学生のために時間と情熱を捧げ、このプログラムの価値を多くの人々と分かち合っています。

第2760地区では、1968年米国と4名ずつの学生の交換から始まり、2013～2014年度までに、399名の愛知からの派遣学生と、401名の世界各国からの留学生の受入を実施してまいりました。

また現在9名の学生がアメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、スイスに昨年の8月から今年の7月頃の予定で留学しており、受入学生も、アメリカ、スイス、カナダ、フランス、フィンランドと5カ国8名の外国人留学生が愛知県で留学生活を送っています。また2014～2015年度の派遣候補生は8名が確定し、8月頃の出発に向けて、委員会主催のオリエンテーションに参加頂き、将来の日本の国際人となるべく準備に入っております。

近頃、日本の国際化がここにきて、大きく進み始めました。マーケットが世界的に広がるなか、特に製造業などにおいては大企業だけでなく、中小零細企業においても、国内産業の空洞化対策のために海外進出が不可避の状況になってきました。また、社内会話を英語で行なう企業も出現してまいりました。こうした企業活動と相反し、海外留学をする留学生の数が、中国、韓国は大きく伸びているのに対し、日本では「内向き」志向が強まり、2000年をピークにその数が半減してきています。米国への留学生数が、日本が3万人であるのに対して、インド、中国は10万人、韓国は7万人と後塵を拝している現状であります。こうした国情の中、次年度に向けても、派遣候補生を1名でも多く、当地から輩出し、1名でも多くの国際人の育成をする事が委員会の使命であると考えます。

青少年交換委員会での問題としては、地区全体の会員数の減少、高齢化によりホストファミリーの確保が難しく交換事業を中止されるクラブが増えています。また、交換学生として来日してくる外国人留学生の質の低下などに起因する問題などを抱えています。これらの問題は、第2760地区だけで発生している問題ではなく、日本全国で抱えている問題になっています。

2014～2015年度地区青少年交換委員会では、青少年の健全育成と将来の日本の国際人を1名でも多く輩出することを目的とし、地区内各クラブに対して青少年交換プログラムへの積極的な参加推進活動を、各クラブ様に出向き卓話などを通じて展開してまいります。

本年度選出された派遣候補生に年間12回以上のオリエンテーションを開催し、ロータリーの交換留学の実施目的を基礎から理解して頂き、当地区を代表して留学するに耐えうる教育教養を身につけて留学してもらいます。

当地区8分区からそれぞれ最低1名の交換留学生が恒常に選出されるシステムの構築をします。また、青少年交換学友会組織の強化の為の援助、既に一部で始めましたが、高等学校と連携しホームステイ家庭を学校側にも確保して頂き各クラブが交換留学を実施しやすい環境づくりの推進、地区内でホームステイ可能なメンバーの方に登録して頂き、短期間ホームステイをお願いするホストバンクを設立しました本年度は登録者数の拡大を目指します。

また、ロータリー章典に基づく受入学生のための包括保険制度を導入します。

対外的には、近隣4地区との合同事業の開催等を活動方針とし委員会活動を行います。

本年度も地区青少年交換委員会に応援とご協力を願い申し上げます。

青少年交換プログラム(1ヶ年 受入・派遣) 2760地区クラブ 年度別取り組み表 (1968-2014) 2760地区青少年交換委員会 作成 (クラブ分割されたRCに若干の割振り違いがあります)

年度	69/70	70/71	71/72	72/73	73/74	74/75	75/76	76/77	77/78	78/79	79/80	80/81	81/82	82/83	83/84	84/85	85/86	86/87	87/88	88/89	89/90	90/91	91/92	92/93		
クラブ	9人	10人																								
半田																										
高崎																										
安治																										
真鍋多																										
大府																										
半田南																										
佐多																										
一宮																										
幸島																										
尾西																										
一宮北																										
緑崎																										
あま																										
名古屋清洲																										
尾張中央																										
一宮中央																										
旗戸																										
犬山																										
江南																										
小牧																										
春日井																										
瑞穂用																										
名古屋空港																										
城戸北																										
名古屋																										
名古屋(旧・豊山)城北																										
愛知東久手																										
名古屋	2	1	2	1		2	2	2	2																	
名古屋西																										
名古屋南																										
名古屋みなと																										
名古屋東海																										
名古屋中																										
名古屋瑞穂																										
名古屋大須																										
名古屋栄																										
名古屋名駅																										
名古屋豊明																										
名古屋守山																										
名古屋和合																										
名古屋守東																										
名古屋北																										
名古屋千種																										
名古屋昭和																										
名古屋城																										
名古屋東山																										
名古屋茶																										
名古屋アリス																										
豊橋		1	1	1	1																					
瀬戸		1	1																							
豊橋北																										
豊橋																										
田原																										
豊橋南																										
新城																										
豊岡																										
奥三河																										
豊川家郷																										
豊橋ゴーデン																										
豊原ハッピーラ																										
豊橋東																										
豊崎																										
豊田																										
豊崎東																										
豊田西																										
豊田東																										
豊田美																										
豊崎城南																										
豊田三好																										
豊田中																										
刈谷																										
安城																										
西尾																										
碧南																										
西尾一色(旧・一色)	1	1	1	1																						
美濃	1	2	2	1	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1	2	1
刈庄																										
西尾KARARA																										
三河安城																										
木定(スポンサーRCがなかった学生:合計に含む)	2	1	2	3	3	1	7	5	2	2	5	4	2	3	1	3	3	4	4	3	6	6	8	6	9	6

青少年交換プログラムとは？

未来を担う青少年に留学の機会を！！



歴史

- 1927年
コペンハーゲンRCで最初の交換
- 1961年
日本（九州）とオーストラリアとで交換開始
- 1968年
第260地区（2760地区の前身）と米国で実施

※全世界では、毎年約7,000名の高校生が交換留学生として交流

仕組み－派遣

- ロータリーが保証するもっとも安全で安い留学システム
- (1) ロータリアンの子弟が参加できる唯一のロータリープログラム
 - (2) 16歳以上、18歳半未満（出発時）の高校生を対象とする
 - (3) 1カ年の長期留学のみ
春派遣は3月に出発し、翌3月帰国
夏派遣は8月に出発し、翌7月か8月に帰国
 - (4) 費用は、往復旅費及び保険、個人的衣類等のみ
滞在費、食費、学校関係費用（授業料等）は受入RCにて負担
 - (5) 小遣いとして、\$50～70程度が毎月支給される
 - (6) ホストファミリーは 3～4カ所
 - (7) 國際親善大使として、相互理解、相互親睦をめざす

※派遣先は年度によって異なる

仕組み－受入

- (1) 受入時期（1カ年）
1月中旬：オーストラリア
3月中旬：韓国
8月下旬：北米、欧州、南米、アジア
- (2) 受入クラブの費用
学校関係費用、クラブでの会合費（35～70万円）
毎月の小遣いとして1万円
- (3) ホストファミリーの費用
食費等の生活費
- (4) ホストファミリー補助金として地区委員会より3万円／月支給
- (5) ホストファミリーは3～4カ所／年が望ましい
最近は他近隣クラブと協力して受入を検討します
- (6) 個人的な費用（電話代、写真代、部活動費等）は個人負担
そのため1万円／月の小遣いを渡しています



青少年交換プログラム

- 世界中の高校生が日本への留学を希望しています。
- あなたの子さんも参加させてみませんか？
- このプログラムなら安心です！
- 会員の子弟も参加できます！
- 高校生があなたの世界を拓げます！

交換学生は新規登録
・出発時：16～17歳（18歳半未満）
応募は中3から可能です
・ホームステイ
・現地の高校に通学
・国際理解と親善

交換手帳 第2760地区
(1968～2012年度)
(長期) •派遣 / 391名
•受入 / 384名
(2013～2014年度)
•派遣 / 9名
•受入 / 8名

求む！

ホストロータリークラブ

ホストファミリー

（2014年度）

派遣学生申し込みから決定まで

（募集案内／地区研修・協議会で発表）

(1) 志願書締切日 2014年7月25日（金）

ガバナー事務局分室まで

(2) 選考試験：2014年8月2日（土）

(3) 結果発表：2014年8月15日（金）

までに連絡

(4) その後のスケジュールは、「年間主要計画予定表」か
<http://www2.starcat.ne.jp/k-kuroda> にて

(5) 派遣人員10名以内

(6) 青少年交換プログラムですので、基本は派遣と受入を同数といたします。また、交換ですので、派遣と同数の受入もお願いいたします。

地区内21RCが未経験です。

ぜひ経験して下さい！

国際ロータリー第2760地区
クラブ会長・幹事 殿
クラブ青少年奉仕委員長 殿

2014年4月13日

2014~2015年度 青少年交換委員会プログラム 青少年交換学生・募集案内について

国際ロータリー青少年交換について、平素よりご尽力頂きますことを感謝致します。

さて、見出しの件につきまして、愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・愛知県私学協会の後援を得て、下記のように交換を行うことになりますので、候補者を選考（面接し、意志確認）の上、ご推薦下さるようお願い致します。

記

1. 2015年8月～2016年8月 1ヵ年交換 約10名

(1)交換（派遣）先	アメリカ・カナダ	2～3名	欧洲	3～4名
	オーストラリア	1～2名	台湾	1名
	ブラジル	1～2名	タイ	1名

(2)対象 出発時 16歳～18歳（18歳未満）の高校生 男・女

○ 2. 派遣先国によっては僅かながら 2015年3月に出発する場合もあります（春派遣）。

3. 派遣学生総数は派遣先国合計で 10名以内とします。

4. 別紙志願書により、交換（派遣）希望国を明記して下記へ申し込んでください。

- ・推薦者数 1クラブ 2名以内
- ・申込期限 2014年7月25日（金）までに必着（厳守）

・送付先 〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル3F
ガバナー事務所分室

国際ロータリー第2760地区ガバナー事務所 青少年交換委員会 宛
注）推薦クラブより書留便にて送付ください。

5. 推薦クラブは、来日学生を同数受け入れることが必須条件となります。

6. 交換（派遣）先の受入人数が限られており、派遣（交換）希望国の通りにならない（希望国以外に派遣される）場合もありますので志願者はその点をよく理解してください。

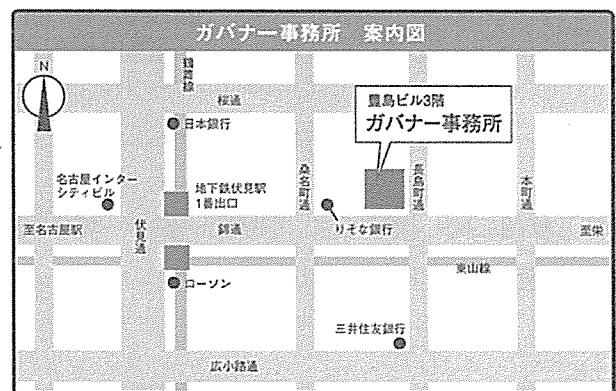
7. 2014年8月2日（土）に選考テストと面接によって候補者の決定を行います。なお、面接は保護者同伴で行います。

面接は英語で自己紹介・抱負等を述べてもらいます『約3分程度のスピーチを用意してください』。

テストの場所は ガバナー事務所（名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル3階にて、午後1時開始を予定しています）

8. 応募者の資格（下記資格のない生徒は受付は致しません。）

- ◎ 日本国籍を有する志操正しく健康閑達な高校生で
出発時の年齢が16歳～18歳（18歳未満）のもの。
- ◎ 学年成績が上位1/2以上で、語学の習得に積極的なもの。
- ◎ 第2760地区（愛知県）の学校に在学するもの。
- ◎ ロータリアンの子弟を問わない。
- ◎ 学校長の推薦および留学または休学許可を得られるもの。
- ◎ 親の許可を得られるもの。
- ◎ 推薦クラブの会長の承諾（サイン）を得られるもの。
- ◎ 中学3年生でも受験資格はありますが、
派遣国が限定されることもあります。



青少年学生派遣について

ロータリー青少年交換学生の目的

ロータリーは、ロータリー国際青少年交換プログラムに基づき、海外のロータリーと留学生の交換を行っています。交換学生は、一定期間外国のロータリアンの家庭およびロータリーが推薦する家庭にホームステイし、その家庭の一員として過ごしながら、現地の学校に通学します。そしてその国の言語を習得するとともに、これらの生活を通じて、風俗・習慣・文化を見聞しながら国際理解と親善を推進します。すなわち、善意と国際理解のロータリー使節であります。

Rotary Ambassador of Goodwill and International Understanding

当2760地区では、昨年まで、毎年10～15名前後の青少年を海外へ派遣し、またほぼ同数の受入を実施しています。2005-06年度ステンハマー国際ロータリー会長は、『すべての国の高校生がこの青少年交換プログラムに参加すれば、世界のすべての戦争はなくなる』と述べられました。

ロータリー青少年交換学生の概要

(1)期間と相手国

2760地区では、現在、ブラジル、オーストラリア、台湾、タイランド、韓国、アメリカ、カナダ、フィンランド、フランス、ドイツ、ノルウェー、ベネズエラ、スイスを対象として、1ヵ年交換を実施しており、その他の国へも派遣するよう交渉いたしております。ほとんどの場合は、8月出発し、翌年7月ごろ帰国することにしていますが、特定の国によっては、3月に出発し、翌3月に帰国する（春派遣）場合もあります。

派遣学生の総数は10名以内といたします。

(2)交換の条件等

- ①交換学生は、出発時において16歳～18歳（18歳半未満）の高校生に限ります。
- ②定められた期間以上滞在することは許されません（1年間未満）。
- ③食事と宿舎は受入口ロータリークラブにより提供されます。原則として受入口ロータリアンの家庭および、ロータリアンが推薦する家庭に入り、通常3～4ヶ月毎にホストファミリーが代わり、相手国の風俗、習慣にじみつつ生活を致します。
- ④交換プログラムですので、派遣学生の家庭は推薦RC『スポンサーRC』から要請のあったときは基本としてホストファミリーとして来日学生の受入を承諾してください。
- ⑤帰国後1ヵ年はロータリークラブ及び地区青少年交換委員会が主催する行事に対し出席義務を負います（必ず出席して、後輩学生のサポートをしてくださいください）。

(3)費用等の負担

- ①本人（父兄）の負担
 - ア. 受入口ロータリークラブまでの往復旅費、傷害・健康保険料および衣類は本人（父兄）が負担することになっております。
 - イ. 持参するお金は原則として、US\$500程度と、先方から指定された保険の掛金、グループツアーガーがある地区はその費用および帰国してから必要な日本円2～3万円となっております。
 - ウ. オリエンテーション、交流会等でかかる諸費用、約7～10万円
- ②受入口ロータリークラブの負担
 - ア. 現地（留学先）滞在費は受入口ロータリークラブが負担します。
 - イ. 学校に要する費用（授業料、教科書、他）は、原則として受入口ロータリークラブが負担することになっております。ただし、制服・部活費は本人負担の場合もあります。
 - ウ. 小遣いとして受入口ロータリークラブから本人に、月々若干額（US\$40～60）が支給されます。
 - エ. 推薦クラブは、来日学生を同数受け入れることが必須条件となります。

注）詳細に関しましては、国際ロータリー第2760地区HP <http://www.rotary2760.org/> より青少年交換委員会のページ にリンクして下さい。

ホストファミリーに関する調査表（登録のお願い）

日頃は国際ロータリー第 2760 地区の青少年交換プログラムにご協力頂きありがとうございます。

この、ロータリー青少年交換プログラムは数ある留学プログラムの中にあって、最も安全でかつ高校生の成長に寄与し、国際親善、国際理解を大きく推進するものであると自負しております。その目的を達成するための仕組みとして、1年間の交換期間を通して、ロータリアンを中心とした複数のホストファミリーによって、一般的な家庭生活を体験し、通常の高校に通う事で、相互理解と親睦を図るものであります。

1カ年の交換を終了した学生の中には、帰国後交換先の大学に入学したり、交換先での就職を希望したりする学生も少なからずおります。それはまさに、このロータリー青少年交換プログラムが、多くの国的学生にとって、人生のかけがえのない体験であったことを意味します。

ただ、現在、この素晴らしい交換プログラムで重大な問題をかかえています。

○ それは、『ホストファミリーが不足している』という事に集約されます。

このプログラムは、クラブ単位で行われ、一つのクラブで3～4のホストファミリーが必要となります、その單一クラブでのホストファミリーの確保というハードルを越えることが難しくなりつつあるという事実です。

そこで第 2760 地区青少年交換委員会では、ガバナーおよびガバナー補佐の指導の下、クラブの壁を取り払い、分区単位で来日学生を受けることも視野に入れて交換プログラムを再構築したいと考えています。

そこで皆様のクラブで下記の調査をお願いし、地区としての交換を推進するために、『ホストファミリーバンク』を形成していきたいと考えています。

日本は、海外との関係を活性化することによって成立する国家だと思います。そのための第一歩としての交換プログラムの活性化と位置付けたいと考えています。

各クラブの例会等でロータリー会員の方々にご案内いただき、別紙の『ホストファミリーバンク登録用紙』に、バンク登録可能な方を記載していただきたいと思います。

○ ぜひ、主旨をご理解の上、ご協力ををお願いいたします。

ホストファミリーバンク登録用紙

2013年9月30日までに ガバナー事務所分室青少年交換委員会事務局 まで提出してください

Mail : yebranch@rotary2760.org FAX:052-211-0230

分区名

分区

クラブ名

R C

青少年奉仕（青少年交換）委員長名

ホストファミリーバンクに登録してもいいという方の情報等をご記入ください

（『期間』の後の に ロータリアンでない方は マーク を入れてください）

ロータリアンでない方でも、クラブからの推薦があれば、ホストファミリーになることは可能です。

ご氏名

期間（週・月数）

その場合、条件がある場合はご記入ください（性別・国の希望等）

ご氏名

期間（週・月数）

その場合、条件がある場合はご記入ください（性別・国の希望等）

ご氏名

期間（週・月数）

その場合、条件がある場合はご記入ください（性別・国の希望等）

ご氏名

期間（週・月数）

その場合、条件がある場合はご記入ください（性別・国の希望等）

もし、用紙が不足するようでしたらコピーしてください。

青少年育成のための青少年交換プログラムが活性化できますよう、ご協力を願いいたします。

国際ロータリー第2760地区
地区青少年奉仕委員会関連の国内外派遣に関する
「重要確認事項・同意書」

【重要確認事項】

国際ロータリー第2760地区の青少年奉仕委員会活動における青少年健全育成支援事業は国際ロータリーの奉仕活動の精神にのっとり実施されるものであります。

その育成支援事業の資金は国際ロータリー第2760地区のロータリアンが青少年育成の理念と善意からなる精神に基づき供与されるものであります。

上記の通りの基本概念に基づく、国際ロータリー第2760地区の青少年奉仕関連委員会活動に関する全ての国内研修、海外研修等の国内外派遣事業の事業に関する保障・賠償等に関する事柄は保険会社との保険契約内容に基づく保障・賠償を全てとし、それ以外の全ての保障及び民事等の訴訟権は、相互（主催者と派遣対象者及その家族）に於いて、その権利を放棄する。

【同意事項】

特に派遣対象者においては、自らの自己責任を基本原則とし、自らの旅行保険等の保険契約内容を確認し、その父兄親族においても同様の義務を共有し、保険会社保障を補償の全てとして、国際ロータリー第2760地区及び地区の如何なる者にも、如何なる補償・賠償を求める権利を放棄することに同意する。

同時に、派遣先の国内外において、派遣時における突発的・思わぬ事故、ウイルス性感染病、地域風土病等の感染等全ての事柄の対応に於いても保険会社の保険契約に基づく保険保障をもって充当し、その保障を全てとし、それ以外の全ての事柄に対する保障・賠償を如何なる者・組織・団体にも求めないことに同意する。

上記重要確認事項・同意事項の説明を受け十分理解した上で、本書にて上記事項の全てについて同意します。

西暦 年 月 日

国際ロータリー第2760地区
地区青少年奉仕委員会委員長 殿

派遣対象者
住所〒

氏名

家族ないし親権者等
住所〒

氏名

緊急連絡先

2014-15 年度 地区役員及び委員会構成

C:カウンセラー A:アドバイザー ◎:委員長 ○:副委員長		
ガバナー	近藤 雄亮	名古屋瑞穂
ガバナー補佐(南尾張分区)	牧野 克則	常滑
(西尾張分区)	野杁 章夫	一宮
(東尾張分区)	加藤 令吉	瀬戸
(西名古屋分区)	宮田 紀昭	名古屋西
(東名古屋分区)	松野 一彦	名古屋東山
(東三河分区)	中島 忠幸	新城
(西三河中分区)	桐渕 利次	岡崎城南
(西三河分区)	黒田 勝基	高浜
地区諮詢委員会	福田 浩三	名古屋空港
	盛田 和昭	名古屋
	神戸 政治	あま
	石川 和昌	豊橋
	松本 宏	半田
	内藤 明人	名古屋西
	野村 重彦	刈谷
	福田 清成	江南
	岡部 快圓	名古屋大須
	豊島 徳三	一宮北
	大島 宏彦	名古屋
	高橋 治朗	名古屋西
	斎藤 直美	豊田
	江崎 柳節	小牧
	片山 主水	名古屋東南
	大澤 輝秀	豊川
	田嶋 好博	名古屋北
	松前 憲典	一宮中央
	千田 穀	名古屋東
	田中 正規	西尾
	近藤 雄亮	名古屋瑞穂
	加藤 陽一	瀬戸
地区幹事	高須 洋志	名古屋瑞穂
地区副幹事	岡村 達人	名古屋瑞穂
	龟井 直人	名古屋瑞穂
	馬場 將嘉	名古屋瑞穂
	天野 正明	名古屋瑞穂
	加納 裕	名古屋瑞穂
	関谷 俊征	名古屋瑞穂
	梅村 昌孝	名古屋瑞穂
	八木沢 幹夫	名古屋瑞穂
	鈴木 淑久	名古屋瑞穂
	森 恒夫	名古屋瑞穂
地区会計長	高須 洋志	名古屋瑞穂
地区監事	小串 和夫	名古屋瑞穂
地区副監事	稻垣 豊	名古屋瑞穂
事務長	高木 勝	名古屋瑞穂
地区スタッフ	湯澤 信雄	名古屋瑞穂
	湯澤 勇生	名古屋瑞穂
	近藤 茂弘	名古屋瑞穂
	長瀬 憲八郎	名古屋瑞穂
	長坂 邦雄	名古屋瑞穂
	堀 慎治	名古屋瑞穂
	鶴田 浩	名古屋瑞穂
	大嶽 達郎	名古屋瑞穂
ガバナーエレクト	加藤 陽一	瀬戸
次期地区幹事	大竹 一義	瀬戸
地区指名委員会	◎ 松前 憲典	一宮中央
	○ 千田 穀	名古屋東
	○ 大澤 輝秀	豊川
地区指名委員会(つづき)		
	田嶋 好博	名古屋北
	田中 正規	西尾
立法案審議委員会	近藤 雄亮	名古屋瑞穂
	岡部 快圓	名古屋大須
	片山 主水	名古屋東南
	田嶋 好博	名古屋北
	加藤 陽一	瀬戸
	高須 洋志	名古屋瑞穂
	大竹 一義	瀬戸
副ガバナー	千田 穀	名古屋東
地区研修リーダー	松前 憲典	一宮中央
分区幹事(南尾張分区)	磯部 栄	常滑
(西尾張分区)	村川 文穂	一宮
(東尾張分区)	松本 哲也	瀬戸
(西名古屋分区)	田茂井克典	名古屋西
(東名古屋分区)	鈴木 宏治	名古屋東山
(東三河分区)	川合 和彦	新城
(西三河中分区)	永田 裕	岡崎城南
(西三河分区)	近藤 智樹	高浜
地区財務委員会	◎ 長谷川正己	一宮中央
	○ 柳澤 幸輝	名古屋東
	○ 植原 勝俊	西尾
危機管理委員会	A 片山 主水	名古屋東南
	C 斎藤 直美	豊田
	C 加藤 陽一	瀬戸
	C 服部 良男	岡崎
	◎ 黒田 勝基	高浜
	○ 岡田 雅隆	犬山
	秋田 敬治	田原
	川村 荒治	豊橋
	神戸 邦夫	豊橋南
会員増強委員会	◎ 石川 勝彦	半田南
	○ 光岡 新吾	豊田
	○ 潤田 文雄	豊田東
	加藤 陽一	瀬戸
	山崎 克弥	西尾
	酒井 良輔	半田
	金子 通信	豊橋ゴールデン
	津坂 守英	名古屋城北
	出田 真太郎	名古屋名南
	松村 晋也	瀬戸
	大竹山雄二	名古屋東南
拡大委員会	◎ 斎藤 直美	豊田
	○ 千田 穀	名古屋東
	八神 基	名古屋アイス
	石川 昌和	豊橋南
	朱宮 新治	犬山
研修委員会	C 江崎 柳節	小牧
	◎ 成田 洋之	名古屋みなと
	○ 津川 聖子	名古屋名東
	○ 小川 宏嗣	犬山
	○ 五藤 隆夫	小牧
	関口 宗男	名古屋みなと
	山名 敬一	稻沢
	西村 忠郎	名古屋栄
	山内 登	尾西
	太田 達夫	名古屋城北
	佐藤 正延	名古屋守山

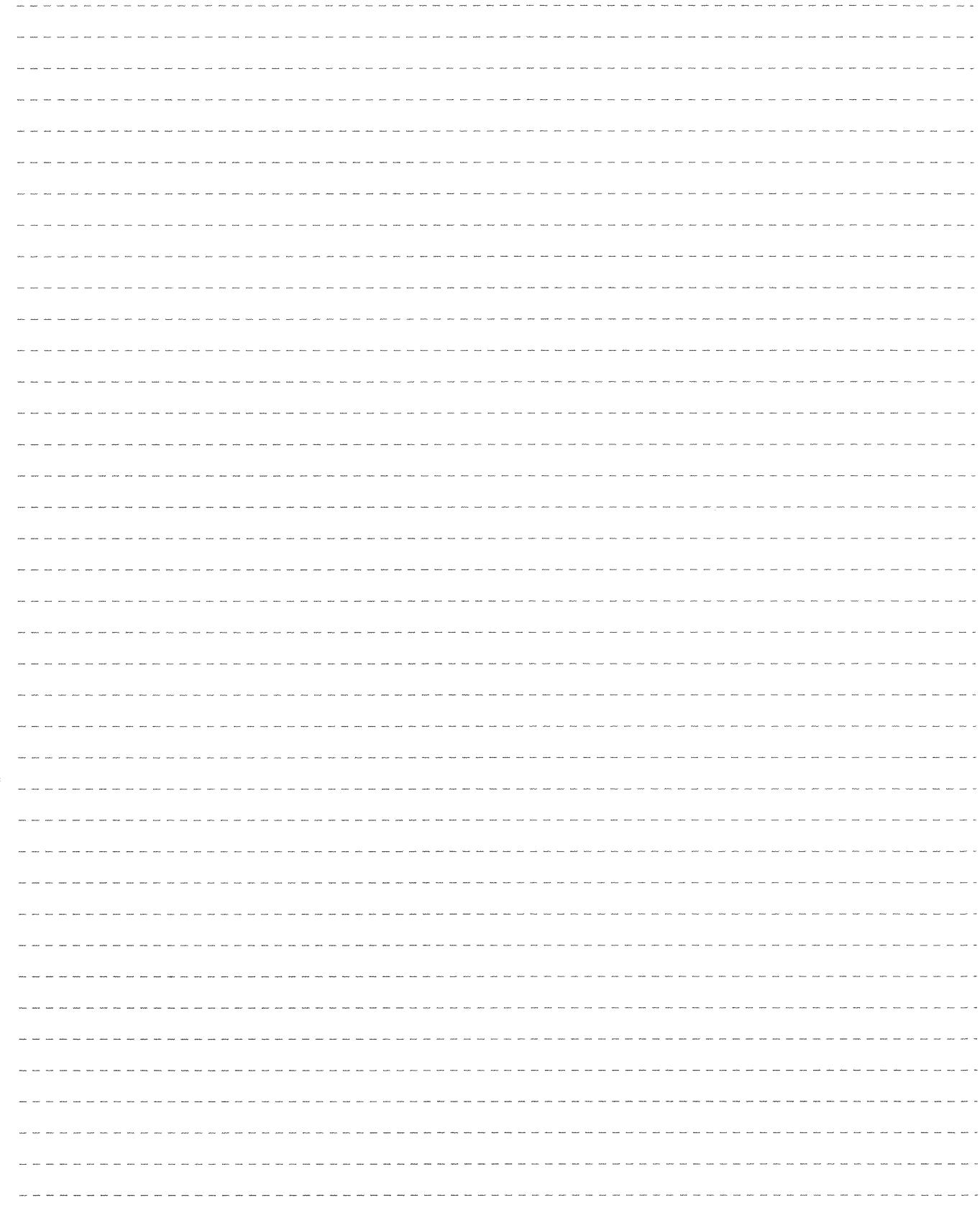
2014-15 年度 地区役員及び委員会構成

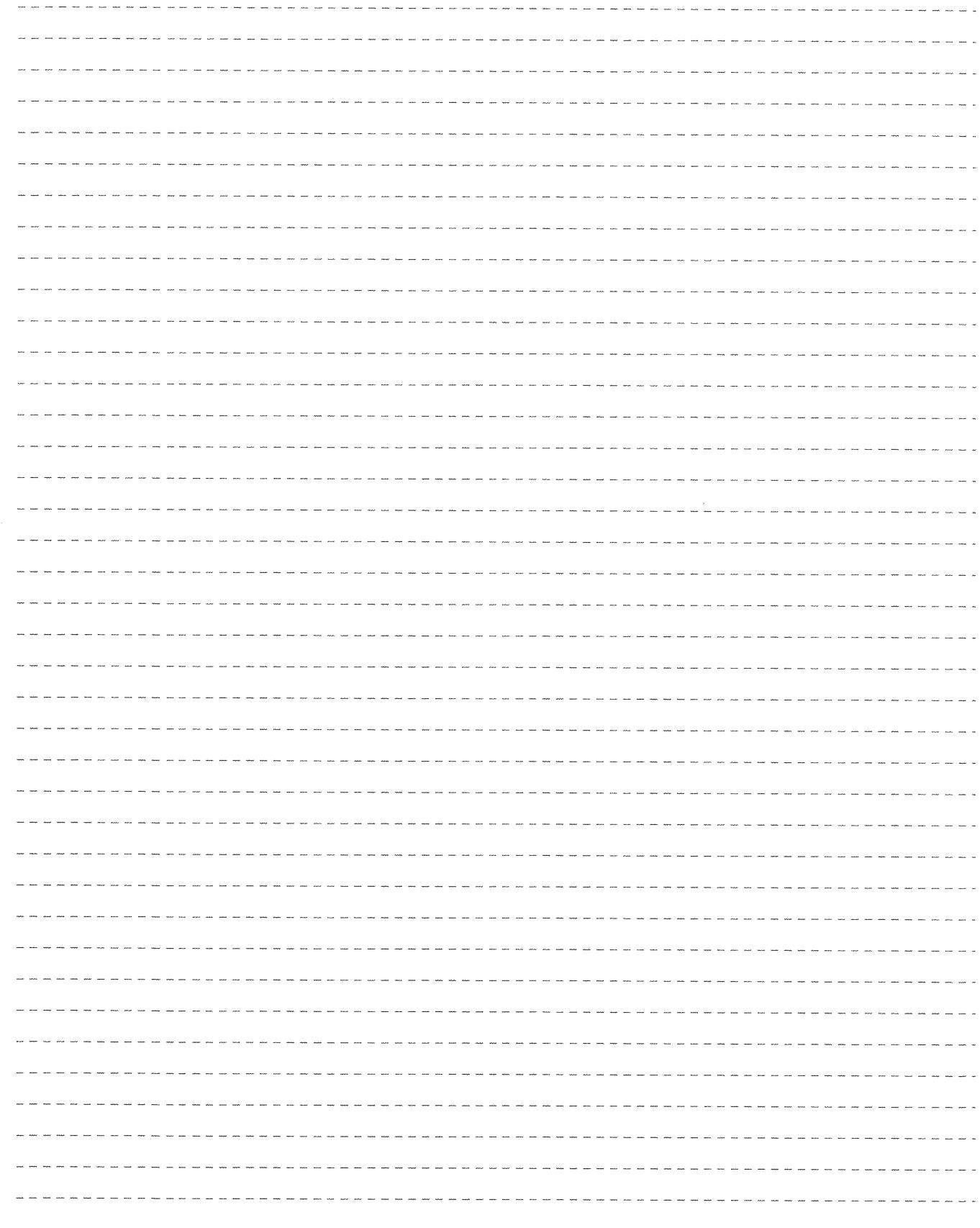
C:カウンセラー A:アドバイザー ◎:委員長 ○:副委員長

研修委員会(つづき)	細井 英治	安城	◎ 杉浦 敏夫 ○ 鈴木 宏司 ○ 堀江 英弥 ○ 村瀬 秀和 ○ 山田 拓 ○ 峠 テル子 ○ 木村 樹生 ○ 坂倉 弘康 ○ 横田 徳久 ○ 本間 毅 ○ 高山 進 ○ 岡部 勢	豊田
	本田伸太郎	名古屋東		半田南
	高畠 畏一	豊橋ゴールデン		名古屋大須
	藤田 守彦	名古屋丸の内		東海
	杉浦 壽康	岡崎		瀬戸
地区大会企画委員会	◎ 近藤 雄亮	名古屋瑞穂	◎ 杉浦 敏夫 ○ 鈴木 宏司 ○ 堀江 英弥 ○ 村瀬 秀和 ○ 山田 拓 ○ 峠 テル子 ○ 木村 樹生 ○ 坂倉 弘康 ○ 横田 徳久 ○ 本間 毅 ○ 高山 進 ○ 岡部 勢	春日井
	田中 正規	西尾		名古屋南
	加藤 陽一	瀬戸		名古屋和合
	高須 洋志	名古屋瑞穂		名古屋名北
	大竹 一義	瀬戸		岡崎南
	細野 恒弘	名古屋昭和		名古屋丸の内
	安藤鉄太郎	名古屋昭和		名古屋北
	杉浦 三郎	半田		
	辻原 正治	半田		
	市川 幾雄	岡崎東		
広報委員会	(13年度地区大会実行委員長)	柴田 健吉	◎ 松本 宏 ○ 秋田 敬治 ○ 川村 荒治 ○ 寺本 善雄 ○ 奥田 清仁 ○ 西本 一幸 ○ 谷山 芳和 ○ 岡田 雅隆	半田
	(13年度地区大会幹事)	岡崎		田原
	(14年度地区大会実行委員長)	半田		豊橋
	(14年度地区大会幹事)	半田		名古屋みなと
	(15年度地区大会実行委員長)	半田		豊田
	(15年度地区大会幹事)	半田		名古屋南
	◎ 片山 主水	名古屋東南		豊田西
	◎ 笠橋 美久	名古屋中		犬山
	○ 佐久間武美	豊橋北		
	堀尾 明史	尾張中央		
IT委員会	岡田 邦義	岡崎		
	松崎美都子	名古屋守山		
	志水ひろみ	春日井		
	池森 由幸	名古屋千種		
	小笠原竜児	豊橋東		
職業奉仕委員会	◎ 尾本 和弘	名古屋東南	◎ 奥田 清仁 ○ 日高 啓治 ○ 佐藤 裕彦 ○ 中杉 和雄 ○ 鈴木 博文 ○ 杉本 知治 ○ 大河内圭一 ○ 山内 隆一 ○ 北園 守生 ○ 鵜飼 正巳	豊田
	○ 池森 由幸	名古屋千種		東知多
	糸井 学	名古屋みなと		豊橋
	坂野 弘	岡崎東		豊川
	杉浦 令淑	名古屋大須		岡崎南
	◎ 早川 和男	名古屋東山		岡崎
	○ 大林香瑞人	東海		一宮北
	村井總一郎	豊橋		岡崎東
	伊東 良夫	半田		北園守生
	中山 信義	名古屋錦		名古屋空港
社会奉仕委員会	大河内俊彦	西尾		鵜飼正巳
	熊田 嘉一郎	豊橋北		稻沢
	和田 典之	名古屋清須		安城
	市川 裕大	刈谷		佐治 勝
	大岩 とよみ	名古屋丸の内		名古屋東
	中村 有孝	名古屋和合		大島 賀樹
	◎ 鈴村與左衛門	あま		渋谷 文平
	○ 杉田 和俊	豊橋ゴールデン		名古屋
	○ 杉浦 文雄	刈谷		
	岩部 雅人	半田南		
RYLA委員会	山元 康裕	名古屋東山	◎ 西本 一幸 ○ 片平 博己 ○ 中村 陽公 ○ 東 孝一 ○ 武田 正典 ○ 阿部 恵彦 ○ 近藤 真 ○ 藤井 康正 ○ 山中 建策	小牧
	舟橋 伸治	名古屋城北		一宮中央
	酒井 賢	岡崎東		
	井口 貴嗣	豊橋		
	日野 典子	愛知長久手		
	中島 宗幸	春日井		
	手島 寿宏	半田		
	伊藤 陽介	名古屋守山		
	金谷 康正	瀬戸		
	古澤 功三	豊橋北		
青少年交換委員会	稻葉 徹	名古屋瑞穂	◎ 谷山 芳和 ○ 竹内 幹尚 ○ 金山 明史 ○ 平田 兼久 ○ 坂本 竹敏 ○ 二ノ宮 道彦 ○ 平尾 節子 ○ 川島 悅雄 ○ 浅見 敏範 ○ 伊藤 祐人	豊田西
	川西 裕康	豊橋東		豊川
	内藤 教恵	安城		豊田西
	◎ 岡田 雅隆	犬山		
	○ 宮下 恵子	中部名古屋みらい		
	○ 岩月 雅章	名古屋中		
青少年奉仕委員会	安藤 隆利	名古屋名駅	◎ 岩田 雅隆 ○ 山本 雅久	名古屋
	山本 雅久	豊橋ゴールデン		豊橋

2014-15 年度 地区役員及び委員会構成

C:カウンセラー A:アドバイザー ◎:委員長 ○:副委員長		
青少年交換委員会(つづき)	ミエル・カルマ/ 村瀬 竜雄/ 山田 高行	名古屋東/ 東知多/ 中部名古屋みらい
ロータリー財団監査委員会	◎ 片山 主水/ 伊藤 鶴吉/ 笠松 栄治	名古屋東南/ 江南/ 高浜
ロータリー財団委員会	C 田嶋 好博/ ◎ 鈴木 文勝/ ○ 吉原 孝彦/ ○ 中林 正人/ ○ 櫻井 繁	名古屋北/ 小牧/ 刈谷/ 名古屋空港/ 名古屋南
会計長	神谷 研	安城
資金管理委員会	◎ 豊島 徳三/ ○ 神谷 研/ 櫻井 繁	一宮北/ 安城/ 名古屋南
資金推進委員会	◎ 中林 正人/ ○ 久米 博明/ ○ 牧野 博和/ 松田 茂治/ 桑山 卓也/ 服部 潤一/ 岡田 吉生	名古屋空港/ 刈谷/ 名古屋栄/ 西尾/ 名古屋和合/ 豊田西/ 岡崎城南
補助金委員会	◎ 櫻井 繁/ ○ 松石 奉之/ ○ 中村 公彦/ 久具 信夫/ 原野 勝至/ 高山 景一/ 田島 保紀/ 笠井 保志/ 加藤 清久/ 名畑 豊/ 朝倉 淳一/ 藤田 義明/ 寺西 正/ 鈴木 照幸	名古屋南/ 半田/ 名古屋名東/ 豊川/ 名古屋栄/ 豊橋/ 名古屋東/ 西尾一色/ 尾張旭/ 春日井/ 名古屋北/ 名古屋葵/ 名古屋錦/ 田原バシフィック
職業研修チーム委員会	◎ 福田 哲三/ ○ 吉川 公章/ 加藤 浩一/ 小笠原 晃/ 上野 広/ 伊藤 素美子	名古屋和合/ 名古屋南/ 犬山/ 名古屋中/ 名古屋昭和/ 名古屋東南
ボリオ・プラス委員会	◎ 横井 定/ ○ 佐々木久直/ 岩崎 光記/ 内田泰潤徳/ 山田 典廣	稻沢/ 一宮/ 名古屋名駅/ 一宮中央/ 名古屋中
奨学基金・学友・平和フェローシップ委員会	◎ 小島 哲夫/ ○ 渡邊 源市/ ○ 成田 優/ 佐々木利政/ 竹本 義明/ 長谷川龍伸/ 加納 昭巨/ 矢頭 功生	豊田中/ 名古屋千種/ 三河安城/ 豊橋/ 尾張中央/ 名古屋丸の内/ 名古屋南/ 豊田東
米山奨学委員会	C 福田 清成/ C 田嶋 好博/ A 中島 実	江南/ 名古屋北/ 名古屋北
米山奨学委員会(つづき)	◎ 伊藤 敦夫/ ○ 金田 英和/ ○ 山本 光人/ ○ 杉浦 正典/ 小栗 正章/ 坂井 則夫/ 水野 憲司/ 野村 順雄/ 加藤 宜之/ 山田 直樹/ 鈴木 聖三/ 田中 寛孝/ 青山 稔/ 中川 敦/ 山田 一仁/ 鮑尔 吉 德/ 杉浦 澄雄	豊田中/ 名古屋東山/ 豊橋北/ 豊田/ 名古屋和合/ 名古屋西/ 一宮北/ 名古屋みなと/ 名古屋名南/ 尾張旭/ 名古屋千種/ 豊川/ 濱戸/ 知立/ 一宮/ 名古屋アイス/ 西尾
東日本大震災プロジェクト委員会	◎ 鈴木 元弘/ ○ 吉原 孝彦/ ○ 山下 正裕	豊田/ 刈谷/ 名古屋栄
被災高校生支援委員会	C 千田 毅/ C 田中 正規/ C 加藤 陽一/ A 杉浦 三郎/ A 服部 孝根/ A 小原 久和/ A 大橋 昭治/ A 井上 雅之/ A 松井 昭/ A 本間 毅/ A 加藤 良邦/ ○ 本多 満/ ○ 浜 洋一/ 柳澤 幸輝/ 笹野 賢宏/ 松田 茂樹	名古屋東/ 西尾/ 猛戸/ 半田/ 稲沢/ 名古屋城北/ 名古屋駅/ 名古屋昭和/ 田原/ 岡崎南/ 碧南/ 岡崎東/ 名古屋東/ 名古屋東/ 松原/ 名古屋東
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会	理事 福田 清成 評議委員 千田 毅	江南/ 名古屋東
ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)	江崎 柳節	小牧
ロータリー財団地域コーディネーター補佐(ARRFC)	深谷 友尋	名古屋みなと
公益財団法人ロータリー日本財団	理事 江崎 柳節 監事 片山 主水	小牧/ 名古屋東南
NPO 法人 RI 日本青少年交換委員会	理事 斎藤 直美 理事 神田 憲 委員 黒田 勝基	豊田/ 名古屋大須/ 高浜
ロータリー友の会編集委員会	地区代表委員 岩瀬淳一郎	豊川
オンツーサンバウロ	近藤 雄亮	名古屋瑞穂
地区ローターAkt代表	坂上 卓史	名古屋熱田 RAC









District 2760

2014-2015 YOUTH SERVICE COMMITTEE